

令和 6 年度 セキュリティ人材活用促進実証に係る業務

セキュリティマネジメント指導 指導後アンケート結果

2025 年 5 月



独立行政法人 情報処理推進機構
Information-technology Promotion Agency, Japan

目次

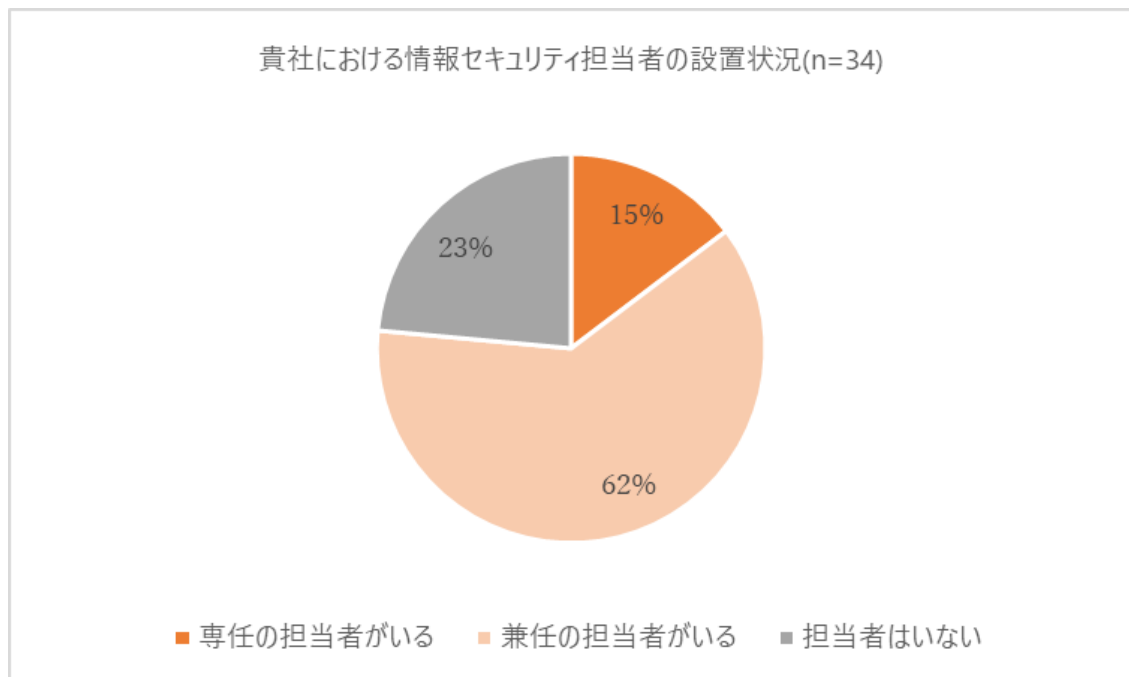
1.	指導先企業アンケート結果	1
1.1.	セキュリティ担当者の設置状況	1
1.2.	マネジメント指導について	1
1.3.	指導プログラムについて	6
1.4.	セキュリティ専門家について	14
1.5.	事務局の連絡対応について	15
1.6.	今後について	17
1.7.	商工会議所等、支援機関との関わりについて	21
1.8.	その他、ご意見やご質問（自由記述）	25
2.	指導専門家アンケート結果	26
2.1.	概要	26
2.2.	施策についての評価	26
2.3.	協力機関との連携について	39
3.	アンケート項目	45
3.1.	指導先企業アンケート	45
3.2.	指導専門家アンケート	53

1. 指導先企業アンケート結果

1.1. セキュリティ担当者の設置状況

(1) 貴社における情報セキュリティ担当者の設置状況

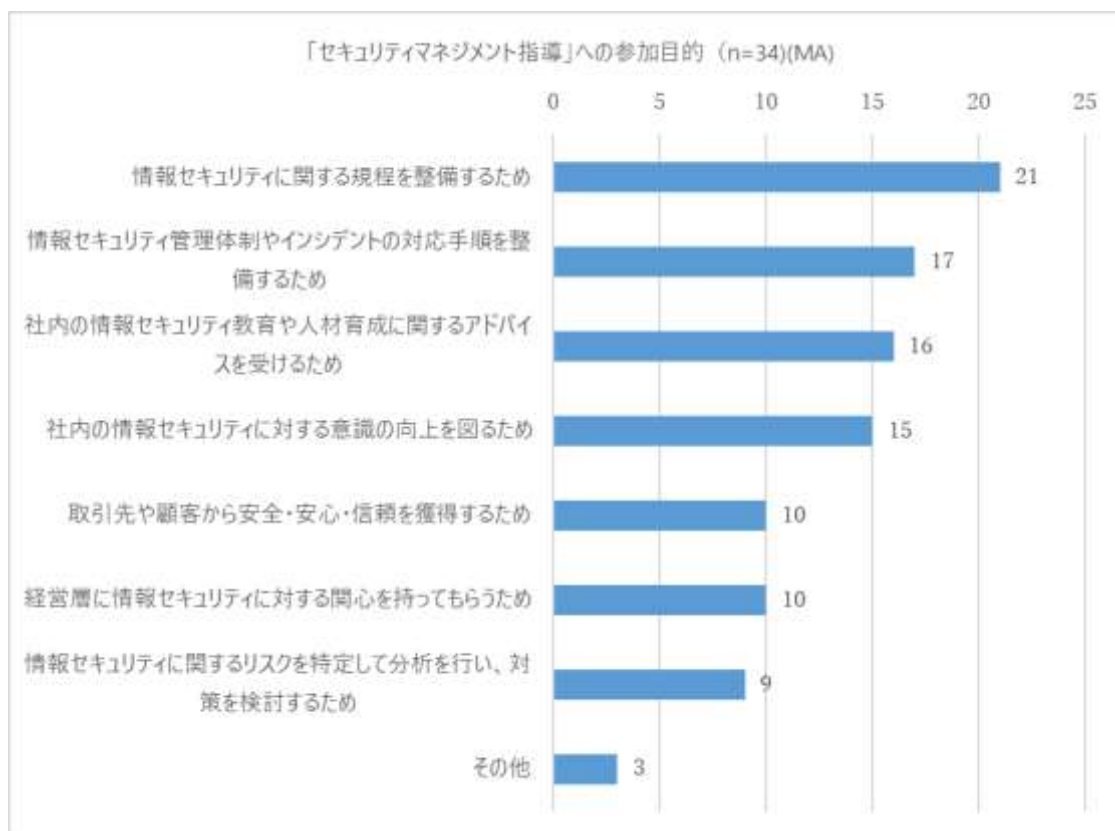
情報セキュリティ担当者の設置状況については、8割近くが専任、兼任の担当者がいると回答している。



1.2. マネジメント指導について

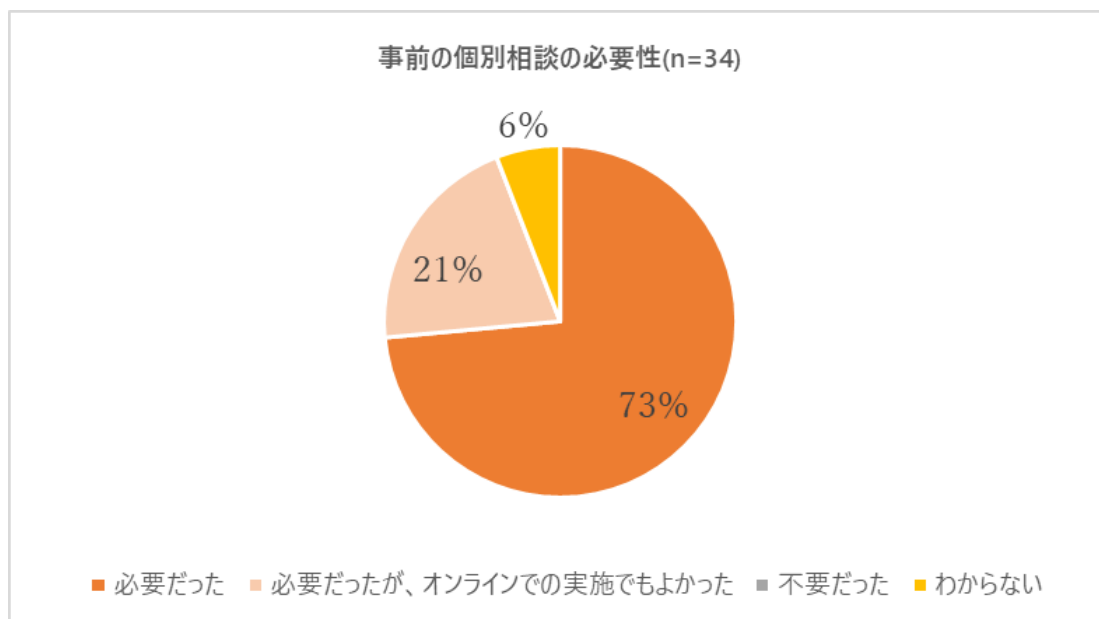
(1) 「セキュリティマネジメント指導」参加目的

セキュリティマネジメント指導に参加した目的としては、多い順に「情報セキュリティに関する規程を整備するため」、「情報セキュリティ管理体制やインシデントの対応手順を整備するため」、「社内の情報セキュリティ教育や人材育成に関するアドバイスを受けるため」となっている。



(2) 個別相談の必要性について

サイバーセキュリティ相談会で実施した、事前の個別相談について、7 割超の参加企業が必要であったと回答している。



「必要だった」理由

- ・ 大体の方向性をお伝えすることができた。それによって大まかに事前準備ができた。
- ・ 事前の個別相談無しで直接訪問による「マネジメント指導」だけだったら、なかなか申し込めなかった。
- ・ 弊社の状況を把握していただき、必要な教育資料、方法など事前に調整が出来た。
- ・ 個別相談により、自社の状況に合った進め方を提示してもらえた。
- ・ 実施前に相談内容・情報を共有できた。
- ・ 具体的な話が対面で出来た。
- ・ 対面だったので相談しやすかった。
- ・ 事前に個別相談することにより、マネジメント指導の内容が明確になった。
- ・ 一度課題を抽出してもらえたので、次に進んだときにすべきことが整理がされた
- ・ 担当してもらった方と、個別相談の方は違ったが、「こんな内容の相談でも良いのか？」について、聞いてもらうことが出来たので、いきなりでなくなったのでよかった。
- ・ セキュリティ規程とは何かを簡単に教えてもらい、スケジュール感など今後の見通しを立てることができた
- ・ 個別に話を聞いてもらうことで、弊社の状況を把握してもらえた。直接のほうが資料の共有もしやすかったと感じた。
- ・ 相談の中で訪問指導の提案をしていた。
- ・ 今回は対面で実施してもらった。「初めの一歩」の相談だったので、言葉のニュアンスや伝えたいことを、顔を見ながら話すことができた。
- ・ 指導してもらう上でのアプローチとしては必要だと思う。
- ・ 面着（直接会って話す）で相談したほうが、お互い考えていることを伝えやすい。
- ・ 周囲の環境や雰囲気など、個々に直接見聞きできるため、安心感があつた。
- ・ インシデント以外の部分でも相談ができ、的確な意見をもらった。
- ・ 対面で話す方が、ニュアンスが伝わりやすい。
- ・ 従業員向けセキュリティ教育について相談しようと思い、マネジメント指導を受けることを目的として個別相談会に参加した。
- ・ 直接、話しをしたほうが聞き出したいことが相談しやすく、親身さを感じる。
- ・ 先に弊社の現状やこちらの課題を伝えることが出来たことで、初回の訪問指導から具体的なアドバイスがもらうことが出来た。
- ・ 分からないことを専門家に直接聞けるのはとてもありがたい。その場でクリアにならなくてもそのあと指導を受けられた点もとてもありがたい。
- ・ 何ができていて、何を聞いてよいか分からないため、個別相談があつて良かった。

「必要だったが、オンラインでの実施でもよかった」理由

- ・ オンラインではいけない理由はない。
- ・ いくつかの相談内容があつたため、事前の個別相談 20 分では短時間と感じた。オンラインにしてもうプラス 10 分あれば、もう少し個別相談する内容について、より具体的に絞り込めたのではないかと

感じた。

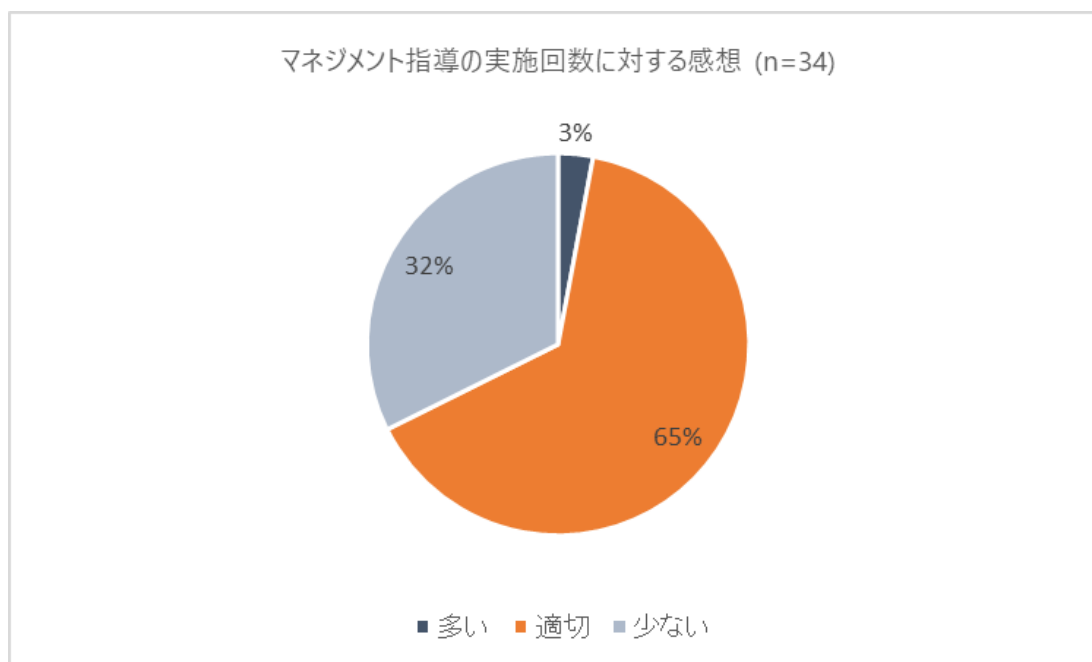
- ・ 特段、直接会う必要はなかったと思う。
- ・ オンラインであれば、自社の資料等をすぐに参照して説明ができる。
- ・ オンラインでの相談可能と判断する。

「わからない」理由

- ・ 相談会に引き続きなら対面でも良い。個別相談単独であれば、時間も限られていたのでオンラインでも良かったと思う。
- ・ 自分としてはリスクの洗い出し、具体的な対応策のアドバイスが欲しかったのだが、訪問指導の内容としては規定を作れ、という方向性だったのであわなかった。

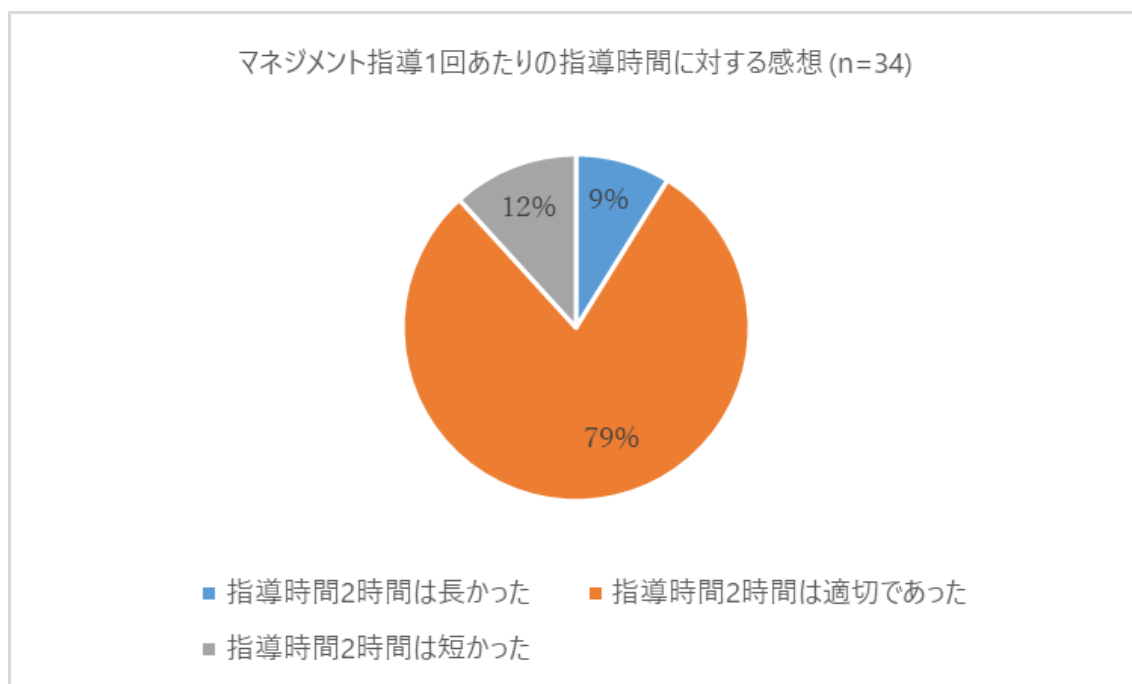
(3) 指導実施回数（3回）について

指導テーマ当たりのマネジメント指導の実施回数（3回）について、6割が適切だったとの回答であるが、一方で3割超が少ないとの回答であった。



(4) 指導時間（2 時間）について

1 回当たりの指導時間が 2 時間であったことについては、約 8 割が適切だったと回答している。



「長かった」回答の適切な指導時間

- ・ 1 時間： 3 社

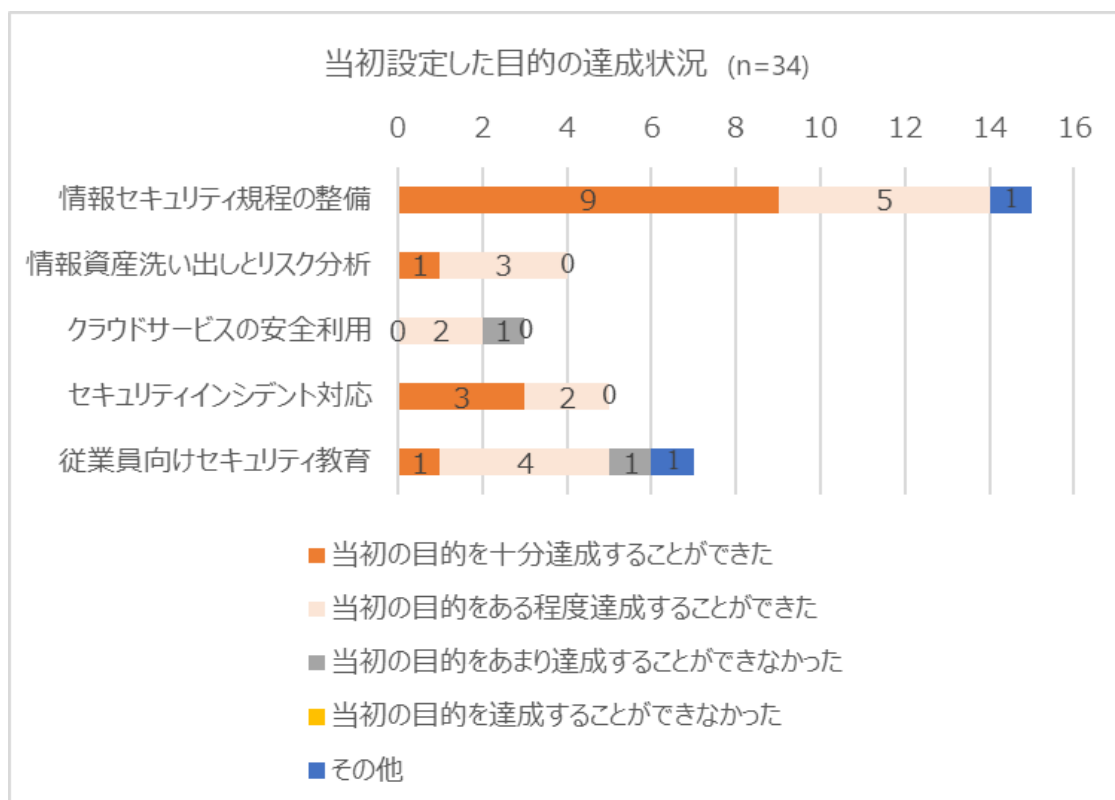
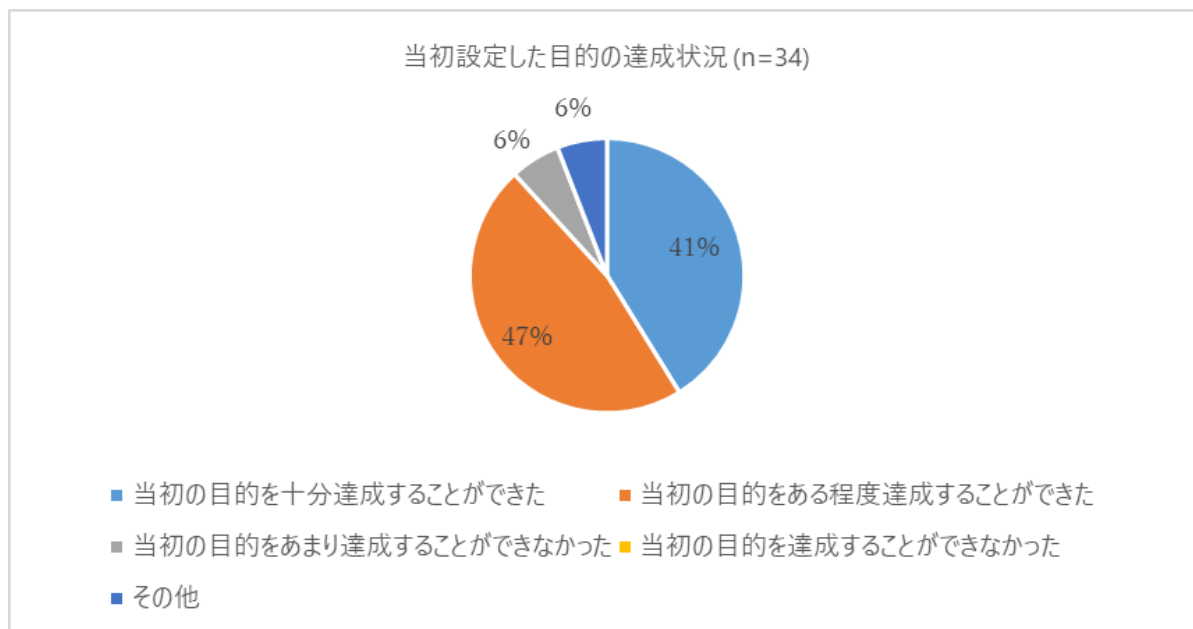
「短かった」回答の適切な指導時間

- ・ 3 時間： 3 社
- ・ 4 時間： 1 社

1.3. 指導プログラムについて

(1) 当初目的の達成状況

9 割近くがマネジメント指導を受け、当初の目的を達成することが出来たと回答しており、高い満足度がうかがえる。



「当初の目的を十分達成することができた」理由

- ・ 全く情報セキュリティマネジメントに取り組んでいなかった弊社が、取り組みを始めるにあたって、まず何をしていいかわからなかった。今回はその最初の取りかかりを支援頂けたので十分に達成できたと思う。
- ・ 情報セキュリティ規程は作成済みだったが、次年度の見直し作業に向けての改定箇所を整理することができた。
- ・ 当初の予定通り達成できた。
- ・ 当社は複数の事業所が存在しているが、個人情報やメールの取扱いについてはそれぞれの事業所任せになっていた。日常的に使用するメールについての注意事項や個人情報の取り扱いについて基本から教えてもらい感謝している。
- ・ 当初の目的のセキュリティ関連規程を制定することができ、さらには今後の教育や運用に向けての助言ももらった。
- ・ 社内でインシデント訓練を予定しており、その訓練シナリオの検討に大いに役立った。
- ・ 情報セキュリティ関連規程を完成させたかったが、目的が達成できた。
- ・ 最初に目標を決めてスタートしており、最終成果と照らし合わせてみると、およそ目標通りの出来となった。
- ・ 規程(マニュアル)が整備できた。
- ・ 情報セキュリティ対策について、現状の整理ができ、今後やるべきことが明確になった。
- ・ 大方の規程を作成することができた。
- ・ インシデント演習を実施することができ、社内教育にも十分効果があった。
- ・ 情報セキュリティ規程を作成することが出来た。
- ・ 他社事例を聞くことが出来、当社の情報セキュリティ施策が、過剰なのか不足なのかを他社比較も踏まえて指摘してもらえた。
- ・ 出来ていることと、出来ていないことがクリアになった。

「当初の目的をある程度達成することができた」理由

- ・ 社長をはじめ、各部署の管理監督者を中心に指導会に参加し、弊社の弱点に対して教育をもらった。他社の事例などを中心に指導を実施してもらったが、専門用語（VPN 通信など）での説明では、DX 推進室のメンバーは理解できるが、製造現場や、他の間接部門のメンバーは理解できず、用語の説明も必要だと感じた。今後の課題として、社内教育・訓練の計画を見直し対応していく。
- ・ 社員への教育（講習）を実施してもらえた。
- ・ 現状の規定や仕組みをレベルアップできたと感じている。
- ・ 2 時間×3 回なので、ある程度こちららも準備して、ということについて、IT 素人にはハードルも高く、また自分だけでなく周りも動かすのが大変だった。
- ・ 自身がセキュリティの専任ではないため知識が乏しかったので、まず、セキュリティの大前提を知ることができてよかった。また、会社のセキュリティに関する方針と一般的に必要なとされていることを理解するきっかけにもなったため、やるべきことは未だあるが方向性を定めることができた。

- ・ 最低限実施すること、今後実施していく弾みになった。
- ・ リスクの洗い出しをすることで、「現時点」の共有ができた。外部の方に指導してもらうことで緊張感があった。指導してもらう＝ガイドラインがあり、ツール類も活用できるので明確なゴールが見えた。
- ・ アウトプット（規定等）を作成することができた。
- ・ 整理事項が洗い出されて納得はしたものの、一度の洗い出しでは理解不足な部分が散見された。
- ・ 指導のおかげでかなり目標に進めることができたが、自社の知識や整備するための能力が足りず、ある程度となった。
- ・ 今回テーマのインシデントの理解以外にも、現在進めているセキュリティ体制作りやシステム員教育などの運営部分や、社内規定など多岐テーマについてご意見もらえ、参考になった。但し、弊社側で活動時間が取れず、宿題が精一杯となり、事前に困り毎や質問項目を纏められなかった。
- ・ クラウドサービス導入時の注意点などを教えてもらい、今後の規程整備に役立てることが出来そう。
- ・ 情報セキュリティ教育実施により、従業員に意識付けができた。
- ・ 従業員のセキュリティ教育もしてもらい大変満足している。もう少し時間があれば、もっと と欲が出てしまう。
- ・ 今後クラウドサービスについて、どのように接するかを検討する内容として役だった。
- ・ 情報資産の洗い出しがある程度できたため。次に何のアクションが必要か、どうするか道筋がたったことが大きい。

「当初の目的をあまり達成することができなかった」理由

- ・ クラウドサービスの評価が中心でしたが、採用しているツールが業界上位のものが多く、企業としての信頼性が高いことが明らかであり、クラウドサービス提供会社の社会的な影響力や企業規模を鑑みると分析する必要があったのか疑問でした。
- ・ こちらの要因ですが、経営層の都合がつかず今回の個別指導に短時間しか出席できず、経営層に情報セキュリティの重要性を理解いただくことができなかった。

「その他」理由

- ・ 意識向上という結果が数値でみえず、すぐには結果がわからない目的であった。
- ・ 方向性が違った。現在の環境に対する具体的アドバイスが欲しかったが、そのようなことは無かった。

（2）マネジメント指導で得られた成果(物)（自由記述）

「情報セキュリティ規程の整備」

- ・ セキュリティポリシーの整備
- ・ セキュリティに関する知識、方向性
- ・ すでに作成済みの規定のブラッシュアップ、今後の教育指針について
- ・ 規程の整備
- ・ 規程の整備。セキュリティに関する知識
- ・ 情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ規定、情報資産管理台帳の作成、専門家の方から社長・役員への情報セキュリティの必要性を説明頂けたこと

- ・ 規則の整備と、規則に対応するための機器の対応、教育資料などの作成物など
- ・ 情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ関連規程、改善対策の洗い出しと実行計画
- ・ 情報セキュリティ基本方針、情報セキュリティ規定、情報資産台帳、情報セキュリティハンドブック
- ・ 次年度の見直し作業に向けての改定箇所を整理と、ちょうど生成 AI ガイドラインの作成を行っていたのでこちらも添削してもらえた。また、情報セキュリティ規程と生成 AI ガイドラインの両方で矛盾がないかのチェックもできた。
- ・ 元々IPAにあった情報セキュリティ関連規程が、規程としては文言が使いにくいので、マニュアルとして作成した。
- ・ セキュリティ関連規程
- ・ 情報セキュリティ関連規程。今後のセキュリティ・DX 関連について、役員を含めた話し合いの時間。
- ・ 情報セキュリティハンドブック、情報セキュリティ関連規程、情報セキュリティ対策ガイドライン

「情報資産洗い出しとリスク分析」

- ・ 情報資産の一覧・リスク分析・対策
- ・ 上層部の意識が変わったこと。各種規程の整備。情報資産台帳の策定。
- ・ 意識向上
- ・ 情報資産の意味やそのものの自体を洗い出すことができた

「クラウドサービスの安全利用」

- ・ 上層部のセキュリティに関する危機感を共有できた。
- ・ クラウドサービスのセキュリティについて、具体的なガイドラインが存在しないということが確認できた。
- ・ 現クラウドサービスの確認

「セキュリティインシデント対応」

- ・ インシデント対応手順書の改版、及びインシデント訓練シナリオ作成
- ・ インシデント対応訓練の手順、対応フローの修正
- ・ ①演習実施による経営層、管理職、従業員の情報セキュリティ意識の向上、②インシデント発生時の対応力の向上、③成果物として、インシデント対応シナリオ(ランサムウェア)、項目ごとの手順書、調査や保全の自動化ツール(bat、スクリプトなど)、トリアージ結果報告書、演習アンケート用紙
- ・ インシデント対応の規定の整備

「従業員向けセキュリティ教育」

- ・ 従業員のセキュリティ教育の実施。業務規程を整備するきっかけになった。
- ・ 経営者・従業員教育の実施
- ・ 従業員教育の具体的な進め方（例、教育後にテスト実施など）
- ・ 教育用テキスト・アンケート
- ・ 従業員教育の実施、今後の情報セキュリティ整備
- ・ 従業員の意識向上につながった。セキュリティポリシーの策定に向けても動ききっかけになった。

(3) 今回のマネジメント指導で果たせなかった課題（自由記述）

「情報セキュリティ規程の整備」

- ・ 欲を言えば、ガイドブックまで作成したかった。
- ・ 全社員への教育
- ・ 時間が限られていたため、特に重要な点を情報セキュリティ規程に盛り込んだが、IPA が推奨する施策すべてを規程に盛り込めなかった点。
- ・ 情報資産洗い出しとリスク分析
- ・ 職員教育を実際に行うところまでの回数は出来なかった
- ・ 現在の環境に対する具体的アドバイス
- ・ 社員教育の今後の流れ。

「情報資産洗い出しとリスク分析」

- ・ 全体 100 のうち 60 くらいまで理解できたが、残りを理解するため伴走をして欲しかった。

「クラウドサービスの安全利用」

- ・ 規程類などを設定していきたいが、少しずつ固めていくようまとめていく。
- ・ クラウドサービスについて実質的なセキュリティの強化やルール作り。

「セキュリティインシデント対応」

- ・ 経営層を含めたインシデント対応について、十分に策定できなかった。
- ・ 部署により、演習時のスケジュール調整が難しく、参加できない従業員がいた。年間スケジュールに盛り込むこととした。
- ・ クラウドを利用したセキュリティ対策

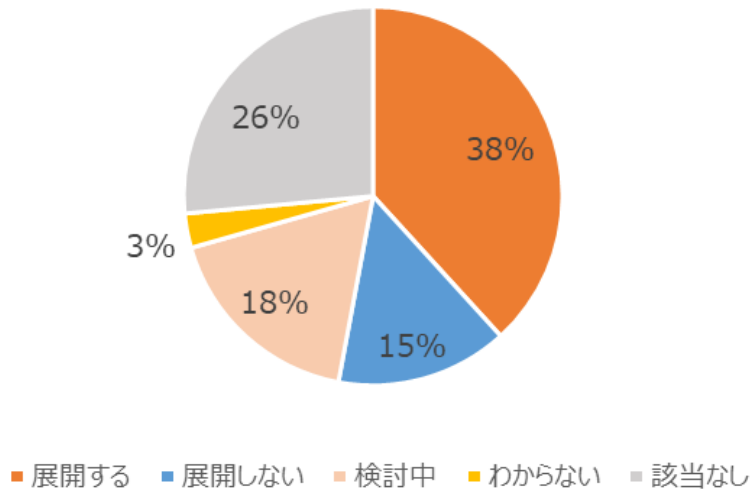
「従業員向けセキュリティ教育」

- ・ 実際の運用への移行
- ・ 経営層に情報セキュリティの重要性を理解してもらうこと
- ・ 情報セキュリティ規程整備

(4) マネジメント指導内容の自社拠点への展開について

今回受けたマネジメント指導の内容を、自社の各拠点（支社/支店、工場、グループ会社等）に展開するかについては、以下の結果となった。

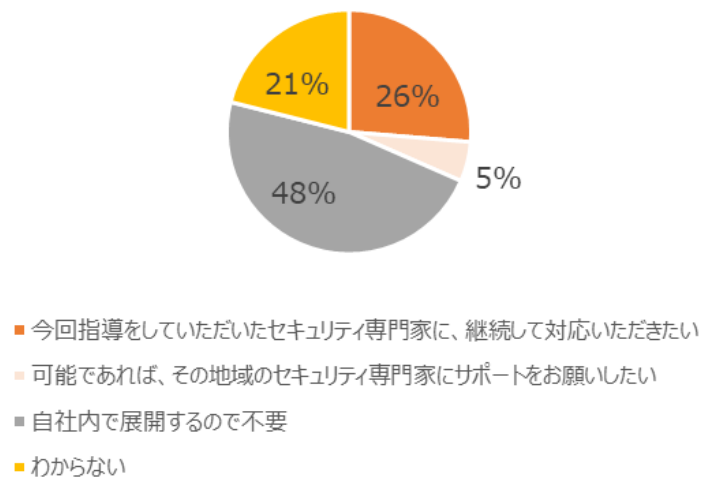
マネジメント指導で実施した内容の、自社各拠点への展開の可能性 (n=34)



(展開される場合) セキュリティ専門家のサポートについて

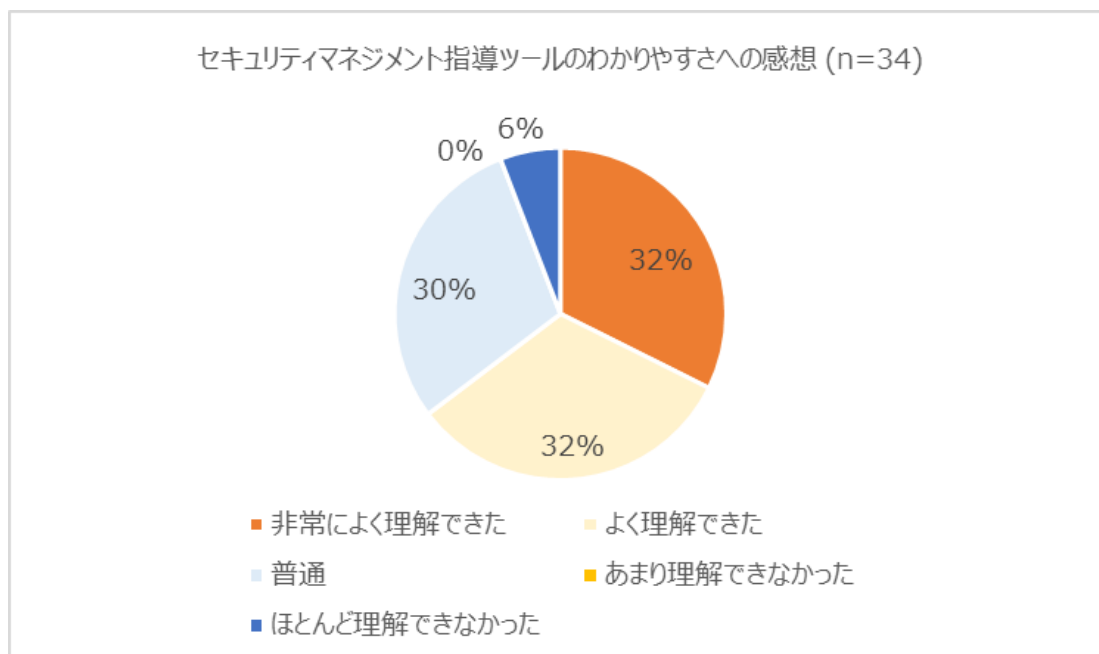
今回受けたマネジメント指導の内容を、自社の各拠点（支社/支店、工場、グループ会社等）に展開する場合、各地域のセキュリティ専門家のサポートが必要については、以下の結果となった。

自社各拠点に展開される場合の、専門家のサポートの必要性 (n=19)



(5) セキュリティマネジメント指導ツールの分かりやすさ

今回の指導で使用したセキュリティマネジメント指導ツールについては、6割超がよく理解できたとの回答であった。

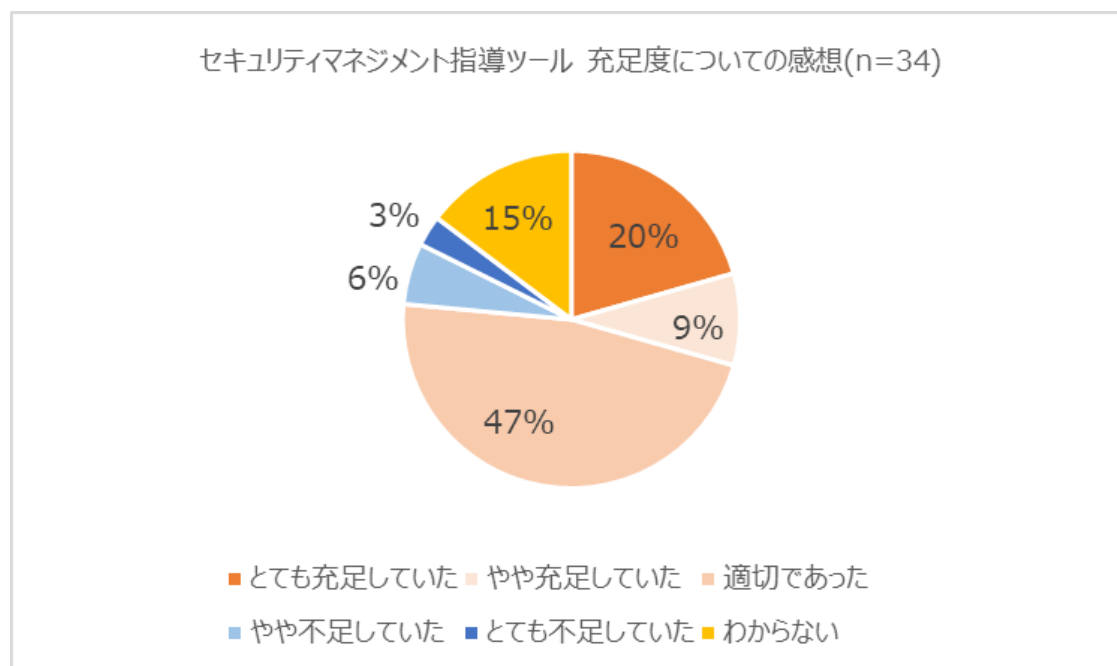


「ほとんど理解できなかった」理由

- ・ 「セキュリティマネジメント指導ツール」がどれか不明

（６）セキュリティマネジメント指導ツールの充足度

今回の指導で使用したセキュリティマネジメント指導ツールについては、8 割近くが充足・適切であったとの回答であった。



「やや不足していた」理由

- ・ 指導者というよりも、ソフト面（運営）の工夫がいるのかなと思った
- ・ 一般的なツールであり、当社の事情に合わないものがあった

「とても不足していた」理由

- ・ サプライヤーとユーザーのペルソナ設定が理解できなかった。客観的に見た時に、スタートアップの弊社が、大企業を評価すること自体ナンセンスな活動だったと感じている。

1.4. セキュリティ専門家について

(1) セキュリティ専門家の技量について

今回指導を担当したセキュリティ専門家の技量について、①テーマについての専門的知識②説明内容の丁寧さ/分かり易さ③指導内容が要望に合っていた④時間配分⑤人柄/態度/言葉遣い⑥指導する意欲⑦コミュニケーションの取り方の7項目について、評価を聞いた。

専門家に対するコメント

- ・ 今回の取組には感謝しているが、セキュリティ専門家の先生の時間を無駄遣いしてしまった気がして申し訳ない気がする。（専門家に相談して進めるレベルの内容ではなく、自身でも30分程度、生成AIを使えば数分で完了できる内容と思った。）
- ・ 私たちのような中小企業をよく理解している専門家の方だと思う。適切な指導を受けられたと思う。
- ・ 相談会の個別指導の時だけでなく、事前・事後にいろいろな相談事にも丁寧に対応してもらえ、感謝している。
- ・ 何もわからない素人の我々に対して、親身になって話を聞いてもらい、研修内容の提案や、法人内の統一ルール策定の重要性を丁寧に教えてもらい、ありがたかった。
- ・ 弊社は全くと言っていいほど、セキュリティ対策が行われておらず、専門家の方からかなり指摘されるだろう、と覚悟していた。しかし、「中小企業にはできることが限られている」ということを理解の上で、弊社に寄り添ってもらい、「がんばりすぎないセキュリティ」というフレーズで、少しずつでも始めればいいんだ、という気持ちにしてもらえた。
- ・ サイバーセキュリティに関する知見が豊富で、弊社が抱える課題について、様々な提案をもらった。
- ・ いろいろ分かりやすく教えてもらい、感謝している。
- ・ 3回だけの訪問指導だったが、うまく時間配分してもらえたことで目標を達成できた。また、ポイントもうまく伝えてもらったことで、こちらもうまくまとめることができたと思う。
- ・ テーマに限定した相談以外にも、セキュリティ関連のアドバイスをしてもらい大変参考になった。
- ・ 指導としては良かったと思う。過度に営業的な部分がなく逆に良かった。
- ・ 大変助かった。感謝している。
- ・ 言うことなし
- ・ 弊社のセキュリティ体制の改善点を的確に教示してもらえた。また、弊社が作成する規程について、現状を踏まえ一緒に文言を考えてもらい、弊社独自の実態にあった規程を作成することができた。とても感謝している。
- ・ 非常にわかりやすく丁寧に担当してもらえた。
- ・ 責任感と使命感を持って対応していただけたと思う。
- ・ とても丁寧に対応、指導してもらえた。大企業出身の方なので、敢えての改善点、どうしても中小企業の細々とした困りごとは「理解はするが対策はない（今ひとつ腹落ちしない）」であった。
- ・ 即答できない内容については、後日調べて教えてくれたりと、丁寧に対応してもらえた。
- ・ 分かりやすく丁寧な言葉で説明いただいた。当社でやれることも提案してもらい、この先の社内展開

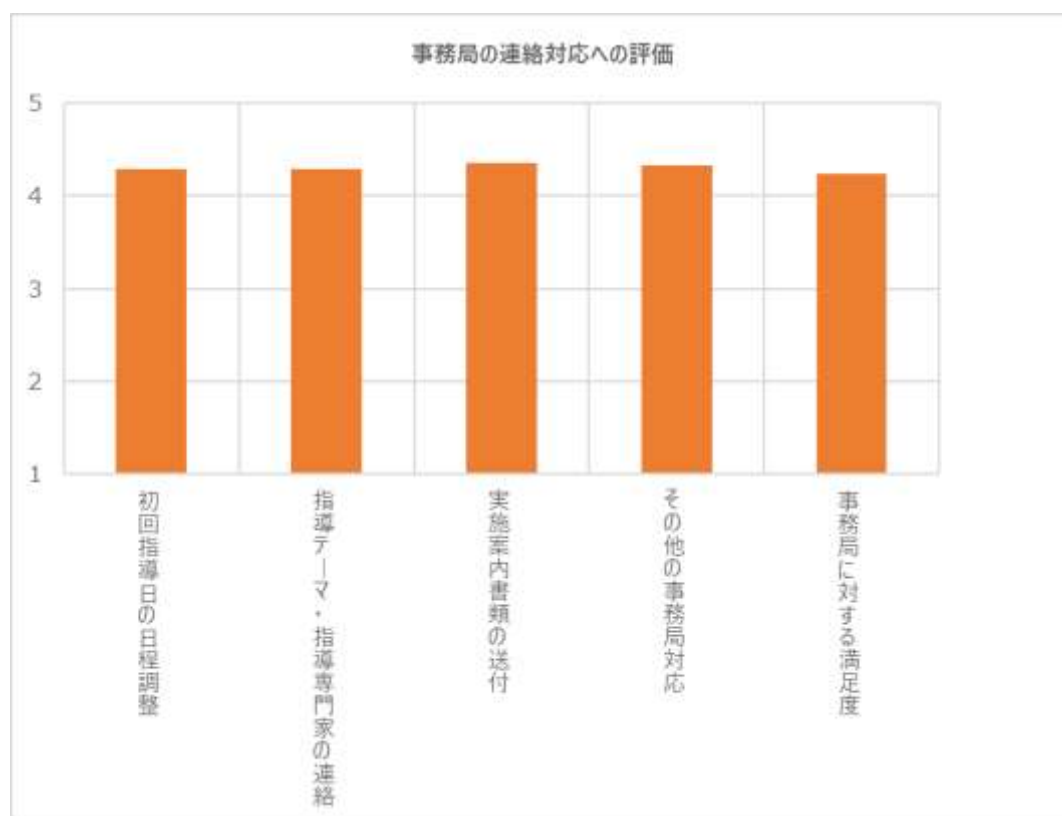
方法をイメージすることができた。

- ・ 丁寧なご指導で理解しやすかったと思う。
- ・ 非常に親切にわかりやすく対応してもらえた。
- ・ 丁寧にご指導いただき、感謝している。
- ・ 分かりやすく指導していただき、感謝している。
- ・ 今回、3 回と短期間の中で、情報セキュリティ教育資料等の作成と報告をしてもらい、今後の情報セキュリティ整備に向けて良かった。
- ・ 丁寧に対応してもらえたので良かった。また、同じ地域地区に在住の方なのでコミュニケーションが取りやすかった。
- ・ 現場サイドでは知らない知識が多いので、セキュリティについて理解を深める良い機会になった。
- ・ 当社の不足しているところを率直に指摘してもらい、すべきことを具体的に提示してもらえた。また、当社社員の情報セキュリティに対する意識や IT リテラシーなど内部事情も聞いてもらった上で、現実的なアドバイスをもらった。今回、最も期待していたことは「社外の目から見た率直な指摘」であり、その期待通りの指導をもらえて大変満足している。
- ・ とても親切に色々アドバイスをしてもらい助かった。また、話しやすい人柄でとても良かった。
- ・ 的を外れたような質問に対しても、丁寧に対応してくれた。

1.5. 事務局の連絡対応について

(1) 事務局の連絡対応について（5 段階評価）

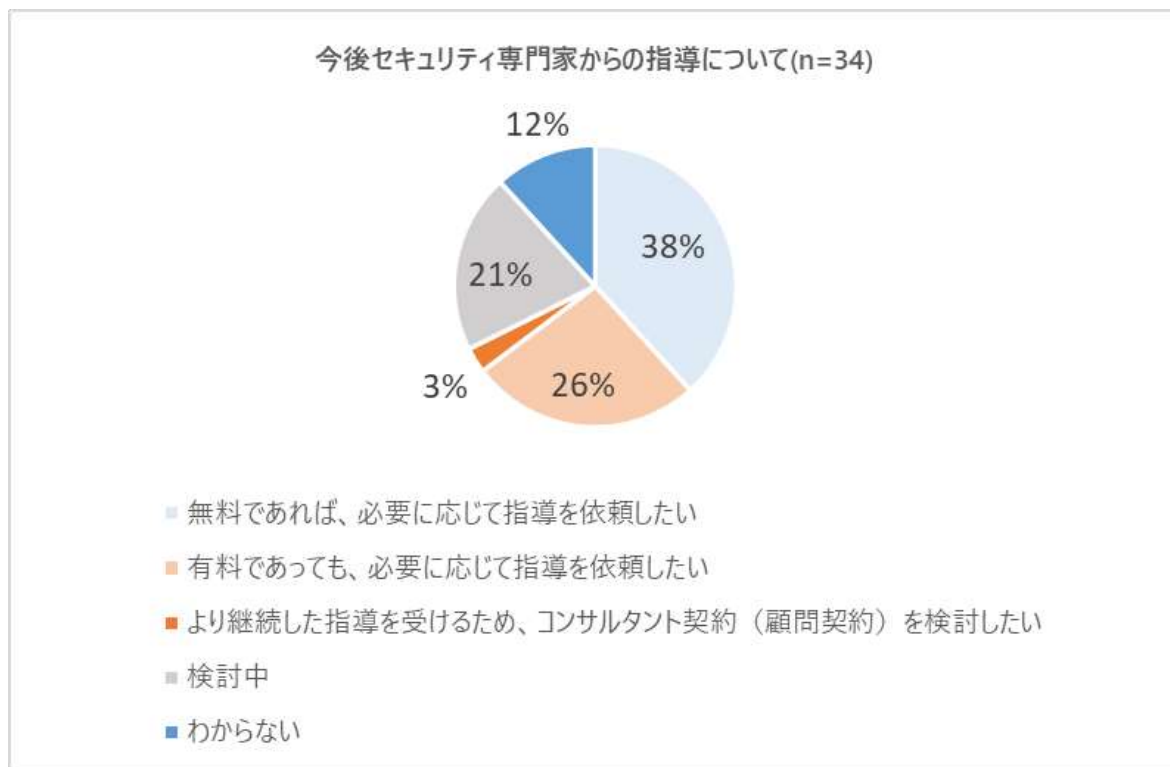
事務局の連絡対応について、①初回指導日の日程調整②指導テーマ/指導専門家の連絡③実施案内書類の送付④その他の事務局対応⑤事務局に対する満足度の 5 項目について、それぞれ 5 点満点で評価した結果は下記の通りである。



1.6. 今後について

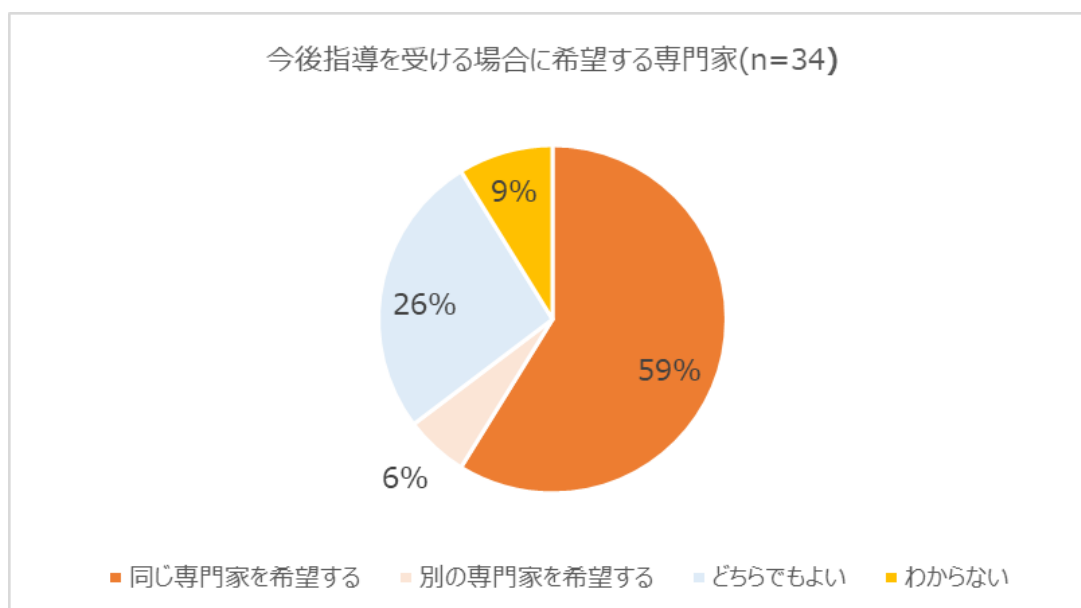
(1) セキュリティ専門家の指導希望

検討中も含め、今後もセキュリティ専門家からの指導を9割が希望している。



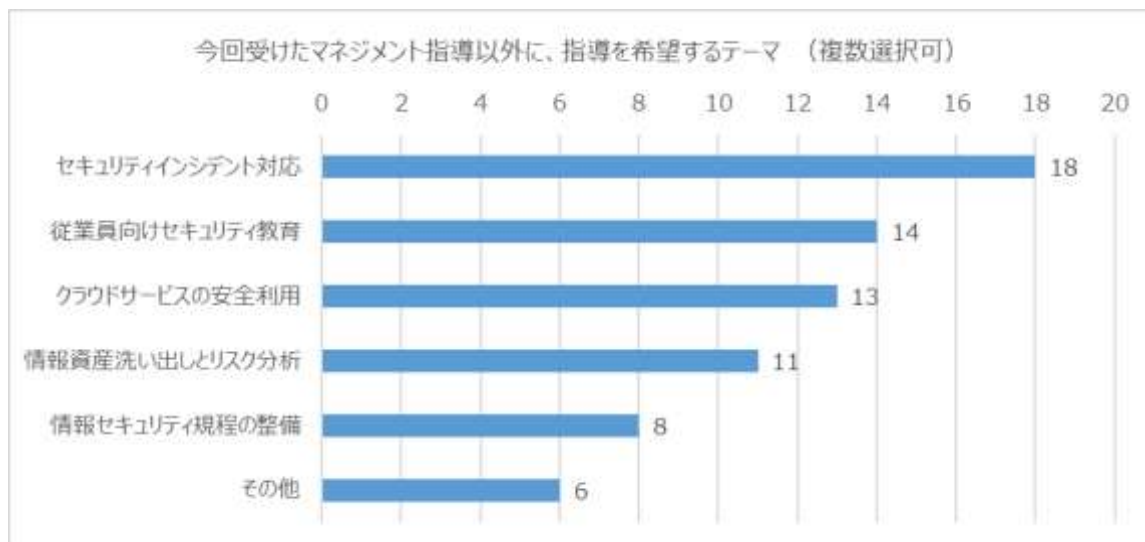
(2) 今後指導を受ける場合の専門家

今後の指導については6割が同じ専門家を希望する結果となった。



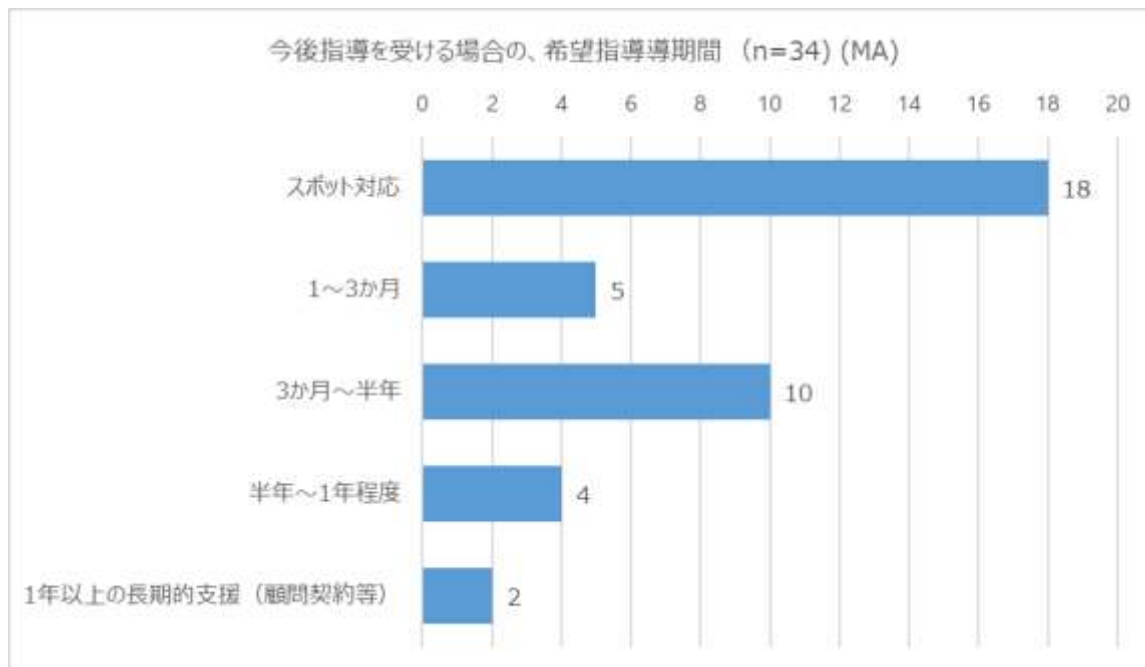
(3) 今後受けたい指導テーマ

今回のマネジメント指導で受けたテーマ以外に、今後指導を希望するテーマは「セキュリティインシデント対応」が最多であった。



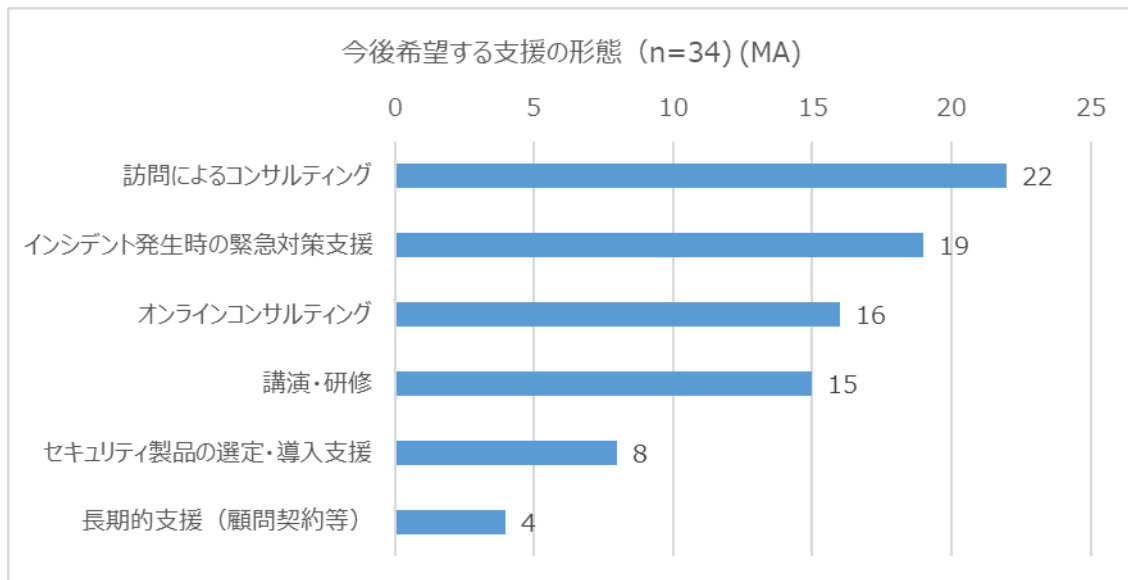
(4) 希望する指導期間

今後指導を受ける場合の希望する指導期間は、「スポット対応」が最多であった。



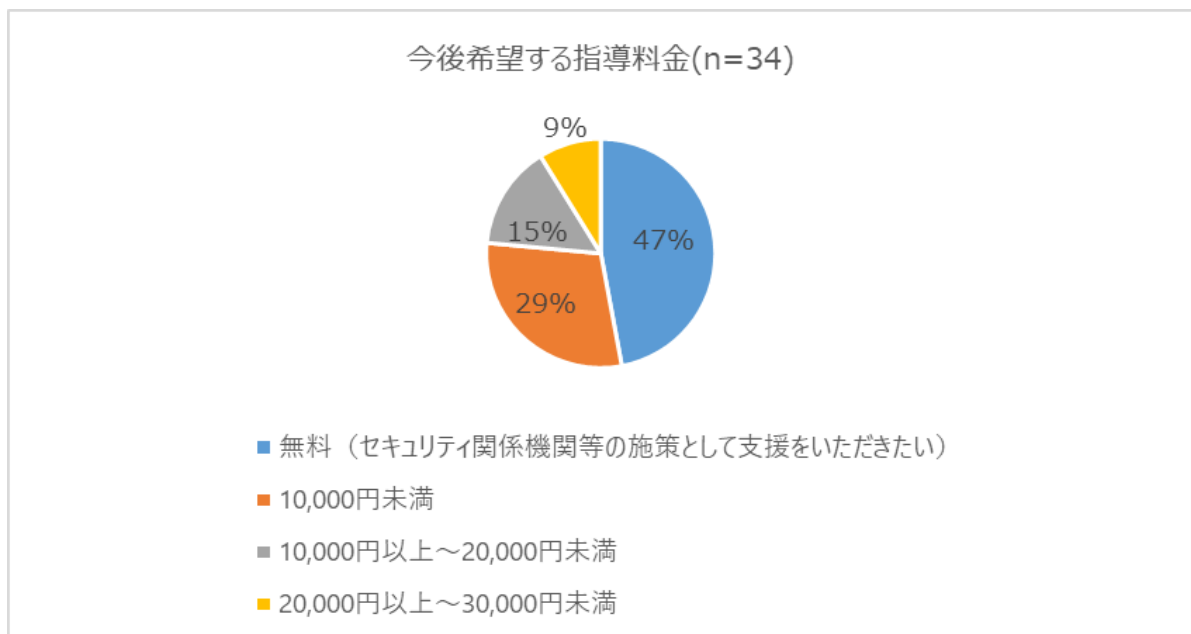
(5) 希望する支援形態

今後希望する支援としては、「訪問によるコンサルティング」、「インシデント発生時の緊急対策支援」、「オンラインコンサルティング」と続く結果となった。



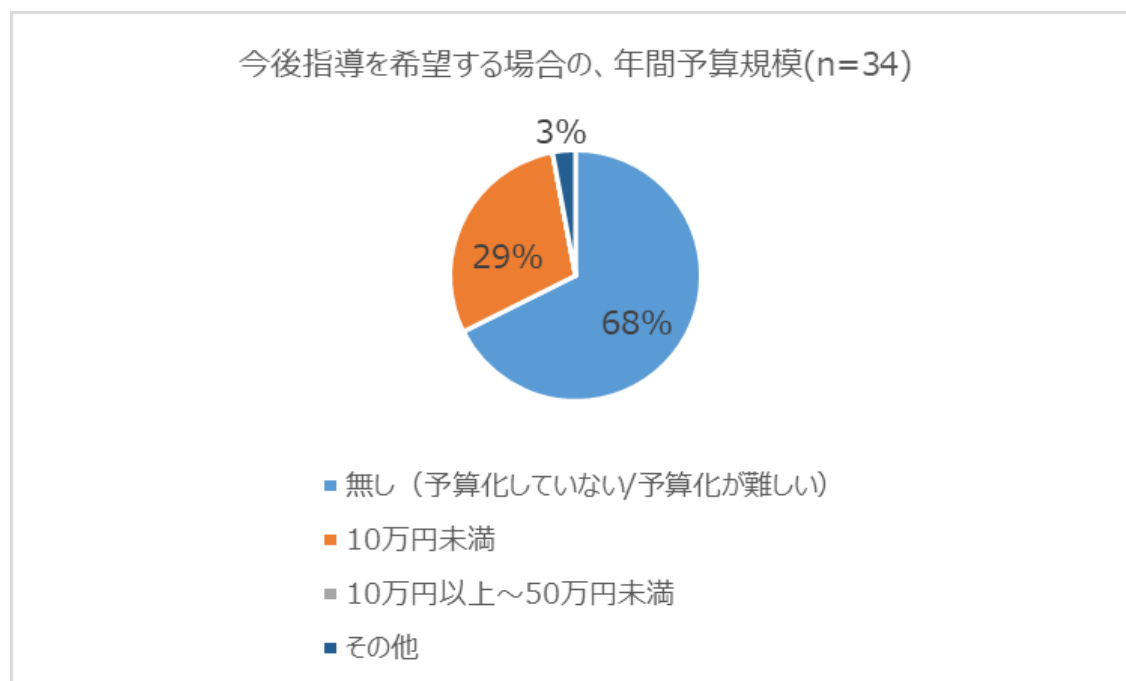
(6) 希望指導料金

今後希望する1回あたりの指導料金は、無料が最多ではあるが、半数以上は1万円以上の指導料金を想定している。



(7) 年間予算規模

今後指導を希望する場合の年間予算としては、予算化していない予算化が難しいが 7 割弱と最多である。



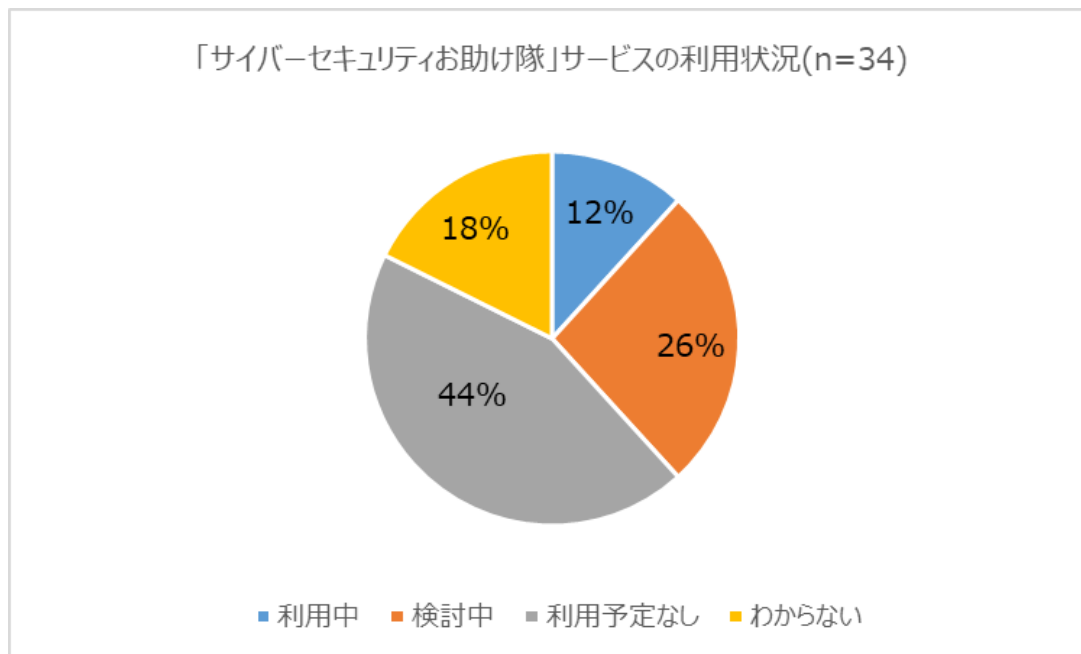
(8) 今回の指導内容（指導ツール、指導方法など）について、改善すべき点（自由記述）

- ・ 具体的な指導ツールを先に見せてもらっていたら、今回のテーマは選ばなかったと思うので、簡単でもよいので、資料として先に見たかったです。
- ・ 今回は無料でご指導いただき感謝している。もし、金額がかかるとすれば、例として「社員教育指導ならば〇〇円」など項目と金額が分かっていたら、社内でも提案しやすい。
- ・ 指導期間を質問事項に入れるのであれば、その期間にあった指導メニューを作って、そのメニューに合わせた指導期間を設定して欲しい。運用面について、改めて考えてもらえると、より良いものになると思う。
- ・ 受講する側も最低限の知識を備える必要があると思ったので、オンデマンド配信等で研修があっても良いと思った。
- ・ 適切な指導をしてもらうために、社内の状況を理解してもらうことが必要と感じた。申込むテーマに絞って、何がどこまで対策ができているか、事前アンケートがあると良いと思った。
- ・ 指導内容に期日、金額などは検討したい。
- ・ 全体量に対してどこまで進んでいるかが分かると良いと思った。

1.7. 商工会議所等、支援機関との関わりについて

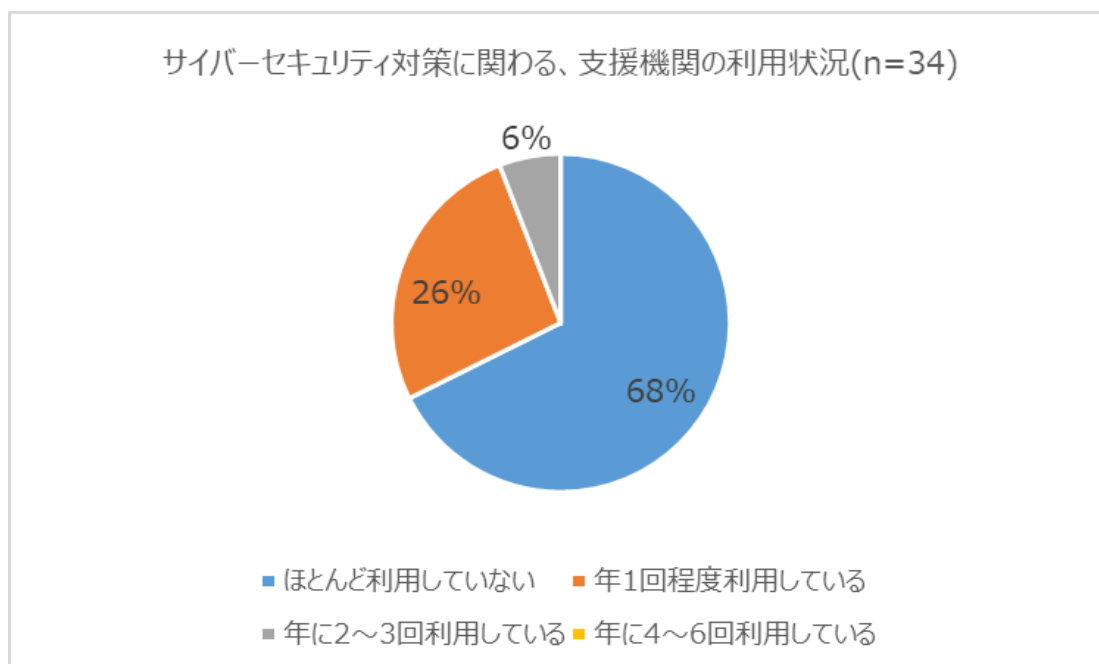
(1) 「サイバーセキュリティお助け隊」サービスの利用状況

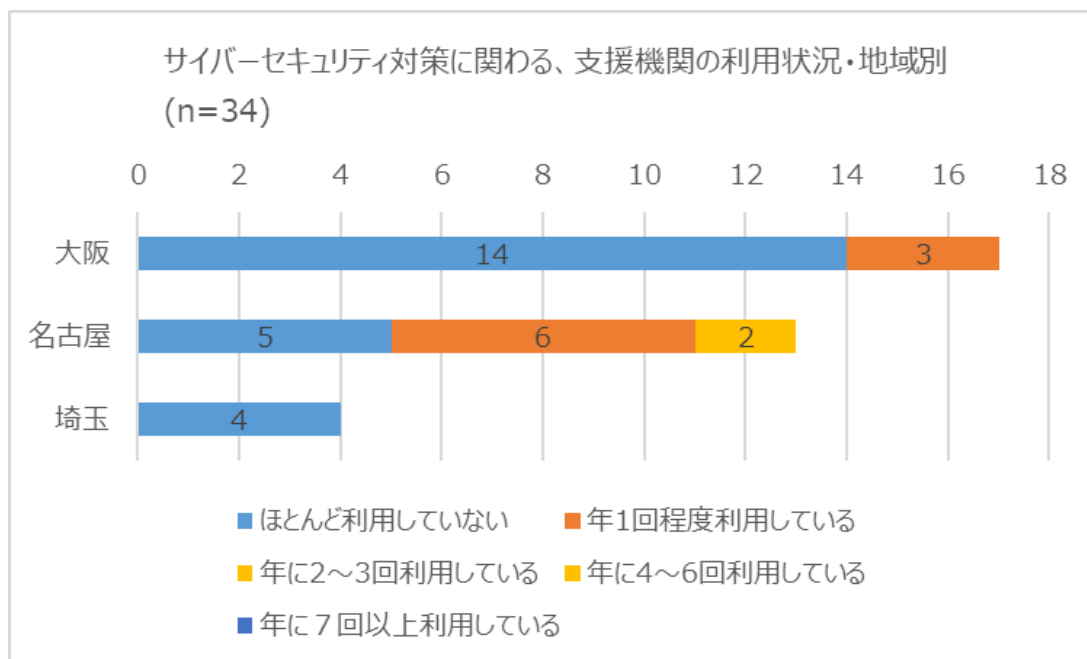
「サイバーセキュリティお助け隊」サービスの利用状況については、以下の通りの結果となった。



(2) 商工会議所等の支援機関の利用状況

7 割近くの企業がサイバーセキュリティ対策に関する相談などについて、商工会議所等の支援機関を普段から利用していないとの回答であった。



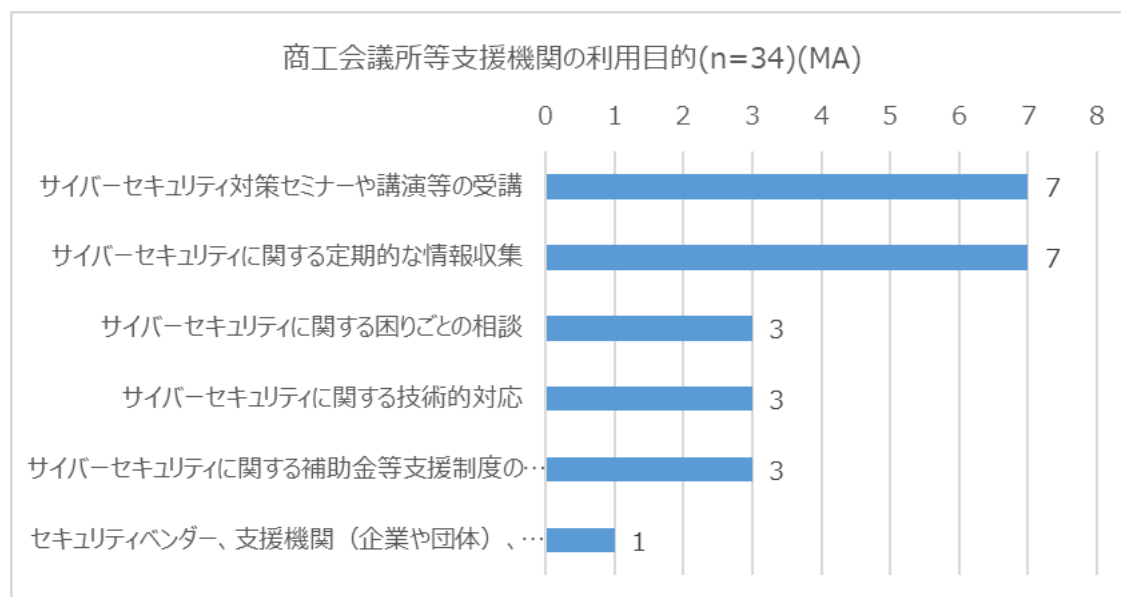


「ほとんど利用していない」理由

- ・ 今までサイバーセキュリティに対する取り組みを行っていなかった。
- ・ 商工会に加入はしているが、サイバーセキュリティに関するイベントは年に1回程度、弊社では、取引先や県警本部又は地域の警察署との情報交換を通じて対策を進めている。
- ・ 何を相談すれば良いのかわかっていない。
- ・ 弊社がサイバーセキュリティの対策をしていこう、となったのが最近のため
- ・ サービスが突然終わる、など政策の方向転換などで支援内容が突然なくなると困るため
- ・ 相談先の選択肢として意識をしていなかった。
- ・ あまり支援機関からの紹介や情報が手元に届かないため
- ・ 外部の IT コンサルタントの方がいるので、基本的にはそちらに相談している。
- ・ どのような場合に相談を利用したらよいかわからない。
- ・ 今までは、セキュリティへの手がかかりや進め方の方法が分からなかったため
- ・ 現在、他社に依頼しているため
- ・ セキュリティに関して、まだ具体的な対策、活動ができていない。
- ・ 商工会議所等の支援機関を知らない。
- ・ 現在のところ大きな被害にあっていないことと、商社に直接確認などを入れている。
- ・ どこで告知されているのかを知らない。今回はたまたまチラシが届いたので申し込んだ。
- ・ 何を相談したらよいかが分からない

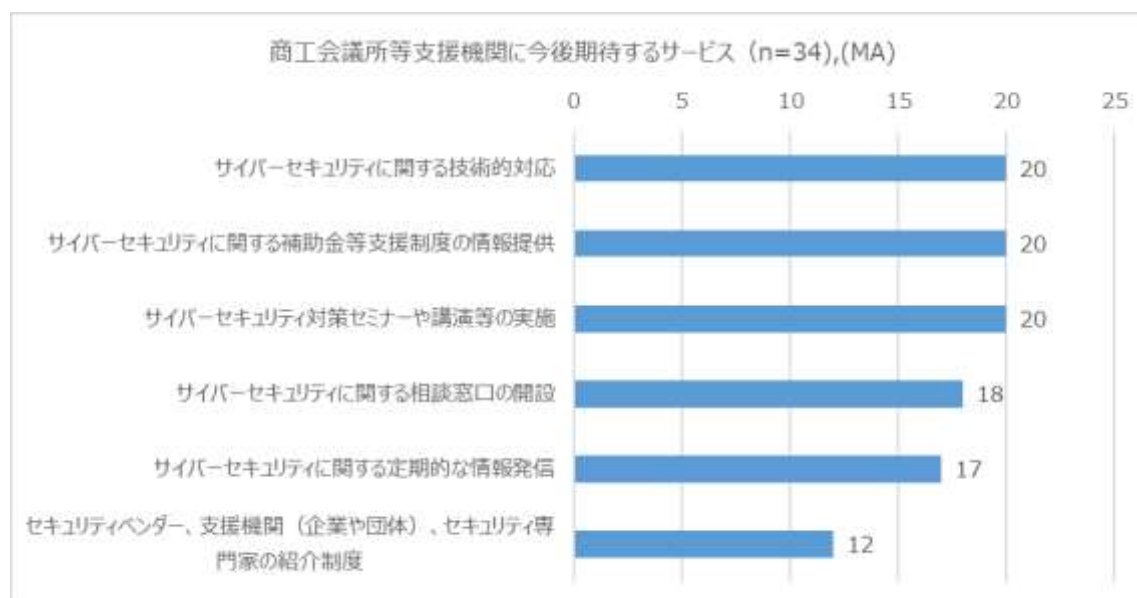
「利用している」と回答した者の、利用目的

商工会議所等の支援機関の利用目的としては、以下の通りである。



(3) 商工会議所等の支援機関に期待するサービス

サイバーセキュリティ対策に関し、商工会議所等の支援機関に期待するサービスとしては以下の通りである。

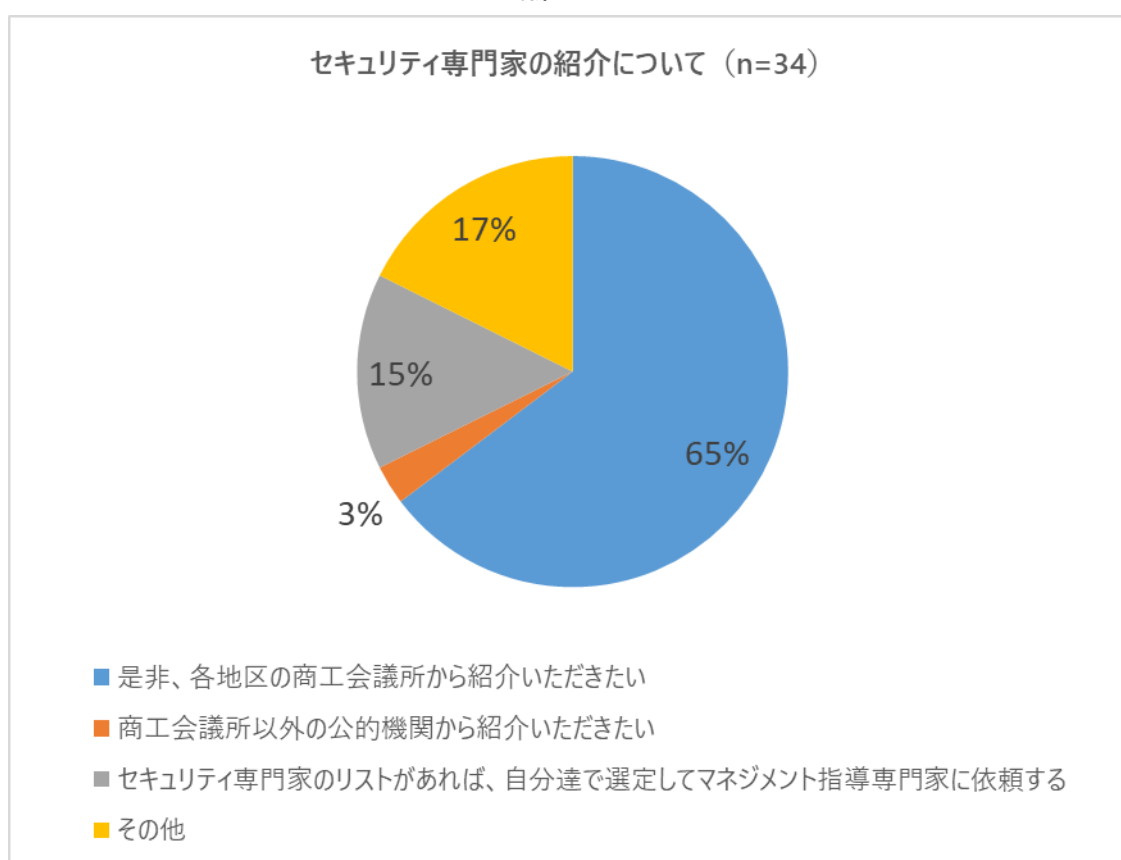


(4) 支援機関に関する要望（自由記述）

- ・メルマガ等の配信で最新の詐欺メール等の具体例を紹介してもらえるとよい。
- ・定期的にセミナーや講演等を実施してもらいたい。
- ・現在はいろんな対策が出ているが、実際どこまで行う必要があるのかきりが無い。また、侵入経路にどれだけの防御（種類）をすればよいのか、商社によって違うので専門家で基本形を出してもらえるとわかりやすい。
- ・最初はなるべく無料で、そのあとの伴走は有料プランでいろいろな選択肢があるとありがたい。

(5) 希望するセキュリティ専門家の紹介ルートについて

セキュリティ専門家について、7割近くが商工会議所や公的機関からの紹介を希望している。



「是非、各地区の商工会議所から紹介いただきたい」理由

- ・同じ窓口の方が、弊社の概要も分かってもらえると思うので安心できる。
- ・中小企業や、個人事業者を含め、地域全体でセキュリティレベルを向上させる必要があるため。
- ・どの専門家が適しているのかよくわかっていないので、商工会議所から紹介してもらえると安心。
- ・基本的にはオンラインでも問題はないが、地元の相談員であれば、リアルで話すことが出来て意思疎通がし易いと思う。
- ・製造業が多い土地柄であるため、地元に通じた方がよい。

- ・ 今回の訪問指導の担当者がよい方だった。
- ・ 特にこだわりはない。事案に対して知見と専門性があれば紹介元にはこだわらない。ただ、通常の業務でも商工会議所との付き合いがあるので、馴染みがある。
- ・ 関連項目についても一貫してご相談できそう。
- ・ 地域に根差した団体と取引したほうが安心だから。
- ・ 地域密着として商工会議所をお願いしたい。
- ・ 普段から商工会議所から通知を受けているため。

「商工会議所以外の公的機関から紹介いただきたい」理由

- ・ 自分たちで探して選定するためのノウハウがないため。
- ・ 事務局を通すことで、テーマが絞られてしまったり、日程調整に時間を要したりするため。
- ・ 自社で対応が必要になった際に対応したい。

「その他」理由

- ・ 社内で相談の上、依頼する。上長への報告・承認が必要であるため。
- ・ 社長の決めることなので。
- ・ 特にこだわりはない。専門的な回答をしてもらえる人であれば問題ない。
- ・ その時の状況により対応が変わる。
- ・ 今回がどの様に選択されたのか知らなかったため、上記から選択できない。

1.8. その他、ご意見やご質問（自由記述）

- ・ 弊社は、自工会からのセキュリティ要求事項にも対応し対策を進めているが、周辺の自工会に関連していない企業は、あまり情報セキュリティに関して重要だと感じていないような雰囲気がある。商工会・その他の機関からも情報セキュリティの重要性について周知できるように、もっと広報などを実施してほしい。
- ・ 民間の指導では、高額な費用体系や、詳細の事前確認がしづらいなどの問題があるが、無料で資格を持った指導員の方に来てもらえることは非常にありがたい。
- ・ これからも、このような取り組みを継続して欲しい。とても参考になり、特に会社の意識が変わったことは、申込みをした甲斐があった。

2. 指導専門家アンケート結果

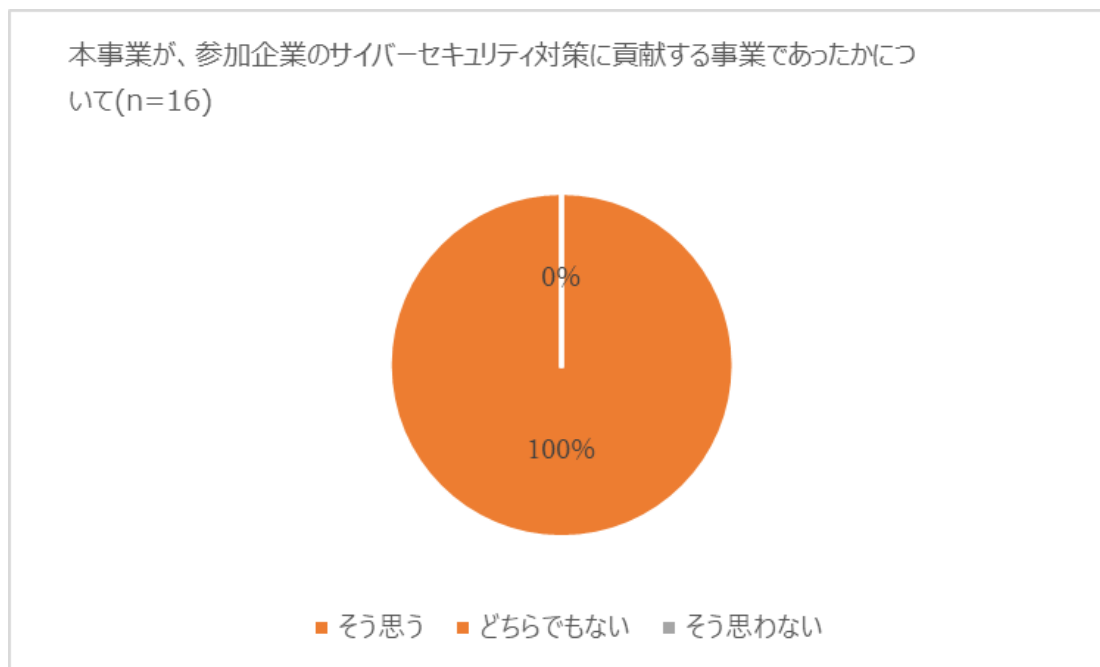
2.1. 概要

指導専門家へのアンケートでは、専門家全員が、本事業が企業のセキュリティ対策に貢献したと回答した。具体的には、「セキュリティ対策を何から始めたらわからない担当者の良い伴走役になった」、「短期間ではあったが、企業が情報セキュリティ対策を本格的に始動する良い機会となった」など、指導先企業の情報セキュリティ対策への取り組みを促進するきっかけとなったとの意見が挙げられた。

本事業自体の評価としても、8割が「今後の情報処理安全確保支援士の活躍促進につながる事業であった」と回答しており、「情報セキュリティの専門家の活躍につながる」、「登録セキスベの存在の認知に寄与した」、「社会貢献を行うことができた」など、情報処理安全確保支援士の認知向上、専門家のスキル発揮、活躍機会の拡大の場として有用であったことがうかがえる。一方で、「企業への指導は情報処理安全確保支援士のスキル以外にも様々なスキルが必要である」、「単価が安く参加者は多くないのではないか」などの意見もあり、今後の課題と思われる。

2.2. 施策についての評価

(1) マネジメント指導は、参加企業のサイバーセキュリティ対策に貢献した事業であったか回答者全員が参加企業のサイバーセキュリティ対策に貢献した事業であったと回答しており、参加企業の情報セキュリティ対策の取り組みを促進するきっかけとなったと思われる。



「そう思う」具体的な理由

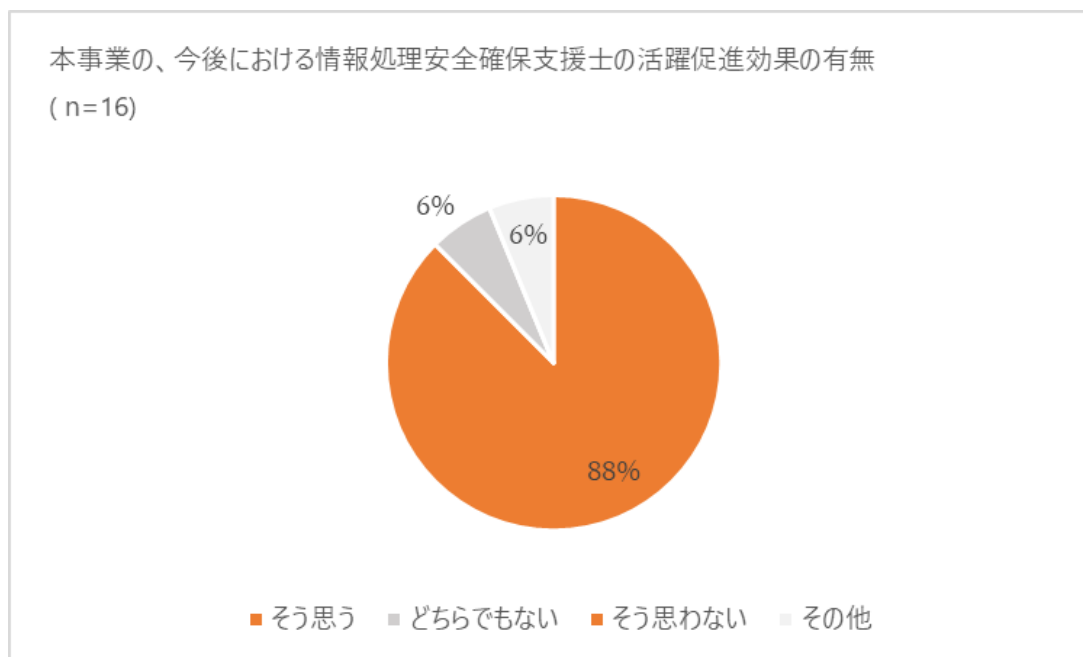
- ・ ニーズに合わせたテーマが選択されているので、指導先企業も真剣に取り組んでくれたと思う。また、企業側が多くの質問を準備してくれており、その質問に回答することで、少なからずサイバーセキュリ

ティの質が向上したのではないかと考えている。

- ・ セキュリティ規程を定めたいと思いつつも、周りに専門家がいなかったために着手できていない、もしくは着手したものの、わからないことだらけで進められないという企業が多い。その中で今回の取り組みは、いわば燈台としての役割を果たすことができる貴重な場であると考えます。
- ・ それぞれの企業が持っている、サイバーセキュリティ対策に関する今の悩みは全く違うものであった。共通して言えることは、何とかして問題点を解決したいという思いだったと感じる。個別にマネジメント指導することで、参加企業のサイバーセキュリティ対策に貢献できたと思う。
- ・ 3 回という短い期間ではあるが、企業が情報セキュリティ対策を本格始動する良い機会。専門家からの助言により悩みや不明点、不安の解消
- ・ 指導先企業によると、セキュリティ対策の周知に繋がり、セキュリティ意識が高くなったとの意見があった。
- ・ マネジメント指導を依頼する企業は、セキュリティ上の課題を認識しており、課題を共有できるだけでも価値はあると思う。
- ・ IPA や商工会議所が推奨する地元の専門家が派遣されるとあって、指導先企業も安心して取り組めたと思う。
- ・ セキュリティについてよくわかっていない企業に対し、方向性を示すことができる
- ・ ルール策定等、参加企業の情報セキュリティ対策の取り組みを促進するきっかけとなった。「こういう機会がないとなかなか取り組まなかった」というコメントを複数いただいている。
- ・ 支援者が入ることで推進力にもなり、具体的に前に進めることができた。伴走支援がないとなかなか難しいと思う。
- ・ 組織細部の情報資産など、気づかなかった脆弱性に気づく機会が多くあり、サイバー対策になったと考える。
- ・ セキュリティ対策と言っても、何から手をつけてよいかわからない担当者にとっては、よい伴奏になったと思う。

(2) マネジメント指導について、専門家にとって今後の情報処理安全確保支援士の活躍促進につながる事業であったか

回答者の 9 割近くが今後の情報処理安全確保支援士の活躍促進につながる事業であったと回答しており、情報処理安全確保支援士の認知向上、専門家のスキル発揮、業務の拡大の場として有用であったと思われる。



「そう思う」具体的な理由

- ・ 今回の取り組みは複数の視点から非常に有意義だった。1) 専門家の存在を認知していただける場である、2) 専門家と企業をつなぐことができる場である、3) 情報処理安全確保支援士の業務の場を広げる取り組みである
- ・ 情報処理安全確保支援士としての知識は、持っているだけではもったいないと思った。マネジメント指導により、知識をアウトプットすることで、さらなるセキュリティ理解にもつながるし、企業側もセキュリティ対策ができる WIN-WIN の関係になれると思う。
- ・ 中小企業の経営課題は多岐にわたり、情報セキュリティは後回しになるケースが多い。そのため情報セキュリティを重要テーマとして考えている企業に巡りあう事が少ないので、今回のような事業(企業とのマッチング含め)は情報セキュリティの専門家の活躍に繋がると思う。
- ・ 中小企業の実態を知ることができる点で有意義。情報処理安全確保支援士の知名度向上に役立つ。
- ・ 様々な活動をすることで、情報処理安全確保支援士の認知度が高まると思う。
- ・ 国家資格なので、中小企業も安心して相談できると思われる。
- ・ 資格の活用方法を模索している情報処理安全確保支援士は多いと思う。
- ・ セキュリティコンサルティングの経験・知識を深める機会であった。

- ・ 技術ではなく情報セキュリティマネジメントに重点を置いているため。
- ・ セキュリティ専門家を頼ることが、セキュリティ対策の推進につながると考えてくれる企業が少しでも増えることに期待したい。

「どちらでもない」具体的な理由

- ・ セキュリティの知識以外にも、ヒアリングスキルや支援にあたっての心構えが重要と考える。

「その他（わからない）」具体的な理由

- ・ 情報処理安全確保支援士には大企業勤めの方多いので、この単価では参加する方は多くないのでは？

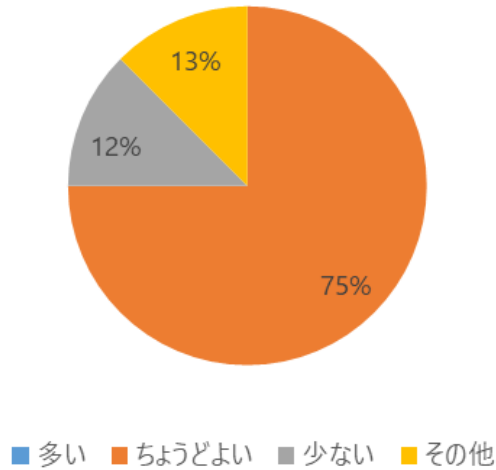
（3）今後設定を希望する指導テーマ（自由記述）

- ・ セキュリティ診断
- ・ 自工会の評価シートへの対応（個々の企業の現状の対応レベルに応じたものとなれば BEST）
- ・ テレワークの安全確保
- ・ AI 利用の安全確保（もう少し将来）
- ・ 個別の製品技術も必要で難しいかもしれないが、ネットワーク機器のセキュリティ設定確認（例えば、WEB カメラのパスワードが初期設定のままかどうかなど）を確認して改善を指導する。
- ・ DX 関係
- ・ 補助金関係
- ・ PC より内容が多いので、モバイル対応内容も入れたら面白いと思う
- ・ 経営者へのセキュリティマネジメントの重要性

（4）本マネジメント指導の実施回数（3 回）は適切であったか

回答者の 75%が実施回数（3 回）は適切であったと回答している。少ない等の意見については、指導テーマや指導先企業によるとの回答があった。

マネジメント指導の実施回数（3回）に対する感想（n=16）



「ちょうどよい」具体的な理由

- ・ 1回目に把握し、2回目で具体化、3回目でフィードバックと修正という感じで進めやすい回数だと思う。欲を言えば、もう一回その後のフォローアップという機会があってもよいかもだが、ここは次のつなげるという方の役割かもしれない。
- ・ 企業等に勤務しながら企業に訪問して指導する時間としては、このぐらいがちょうどよいと感じた。
- ・ 無償であればこれくらいで良いのではないかなと思う。
- ・ 特にセキュリティ関連規程の定義という場においては、1回目で課題抽出、2回目で執筆（支援）、3回目でレビュー及び今後の展開の説明、という流れが取りやすく適切だった。
- ・ 指導テーマ5テーマに関しては、ちょうどよいと思う。ただし、少し協定にそれると修正は難しい気はする。
- ・ 導入、実施、振り返りの3回で十分である。
- ・ 計画、実施、結果確認を各一回ずつで実施できる。
- ・ 指導先企業の担当者の負担を考慮すると適切な回数だと思う。
- ・ 1つのテーマであれば多い感じもするが、指導先企業の理解度を考えると、この3回でちょうどよいと思う。
- ・ 副業の場合あまり時間が取れないので3回でよい。
- ・ 3回くらいで具体的ゴールを決めたほうが緊張感があってよい。
- ・ あまりだらだらとやっても仕方がないので、STEP by STEPで3回くらいが適切かなと思う。

「少ない」具体的な理由

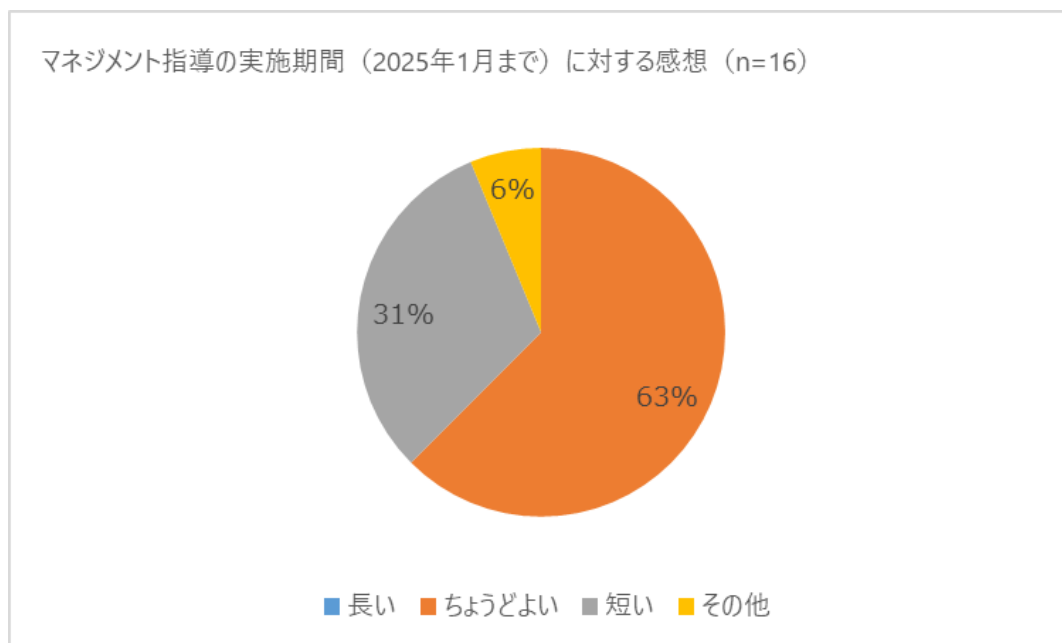
- ・ 今回の指導先企業は担当者の能力が高く、やる気もあり誠実に対応していただいた。ただ、そのようなケースだけではないので、もう少し余裕があると良いかなと思う。
- ・ 規程類を最後まで作成できなかった企業が多いため。

「その他」具体的な理由

- ・ リスク分析はもう少し回数が多い方が良い。リスク分析は 3 回では結構短かった。それ以外は適切だった。
- ・ 支援テーマ、指導先企業による。指導先企業の状況や担当者の IT リテラシーレベルにより、支援内容・度合が異なる。

(5) 本マネジメント指導の実施期間（1 月まで）は適切であったか

回答者の 6 割が実施期間について適切であったと回答している。一方 3 割が「短い」との回答であり 12 月から 1 月という年末年始をはさむ期間であり、スケジュール調整が難しかったとの意見があった。



「ちょうどよい」具体的な理由

- ・ 内容的には 1 か月以内に終わるかと思ったが、当方や先方の都合を合わせたりしていく中では、今回の期間は適切だったと思う。
- ・ 月 1 回のペースは両者共に負担も少なく程よい間隔だった。
- ・ 3 回の間があかないため、緊張感を保ってきっちりと終わったから。これ以上短いと日程調整が難しい。
- ・ 事前段取りなどを考えると 2 週間ほど間隔をあけた方が良いのと、それ以上長くても結局事前に作業するだけになる。
- ・ 長すぎても間延びするので 3 回支援だったら適切と思う。
- ・ 2 週間に 1 回程度に収まったため。
- ・ 2 か月間であったが、指導先企業のスピード感をもってもらうためには、ちょうどよいと思う。
- ・ 3 回であれば 1 月末までが適切であった。回数が増えた場合は 11 月～1 月では短い
- ・ 宿題もあり、月 1 くらいがベストである。
- ・ ある程度間をあけないと、宿題事項など検討する時間が持てない。

「短い」具体的な理由

- ・ 年末年始が入るので、以外にタイトなスケジュールになる（他の月であれば問題ないかもしれない）。
- ・ 指導日程が確保できない。
- ・ 初回訪問が 12 月であったため、年末年始の休みの影響もあり苦しいスケジュールだった。
- ・ スケジュール調整が難しい。
- ・ 年末年始を挟むと、やはり体調不良や社内イベントなど多忙に追われ、情報セキュリティ規程などの文章化が進まず、可視化できなかった故にチェック出来なかった部分も多くあり、実施時期としてはあまり有効でなかったと感じる。企業側からも一番多忙な時期や別案件が出てくるタイミングで作成出来なかったとの言い訳も多く出た。事業については、12 月-1 月という多忙時期は避け、6 月-11 月から時間の割ける 2 ヶ月を選んでもらうなど工夫が必要。

「その他」具体的な理由

- ・ 11 月の前半が無為に過ぎたのがもったいなかった。正味で 3 か月取ればよかったかなと考える。実際には第一回が 11 月後半となるため、最終の 1 月末まで 2 ヶ月強しかない。最初の面談の時点で、初回の打合せ日程を確定させる前提で臨むように、受講者側に周知をした方が良いと感じた。

(6) 本マネジメント指導の実施形式（対面での実施）は適切であったか

回答者全員が対面での実施形式は適切であったと回答している。



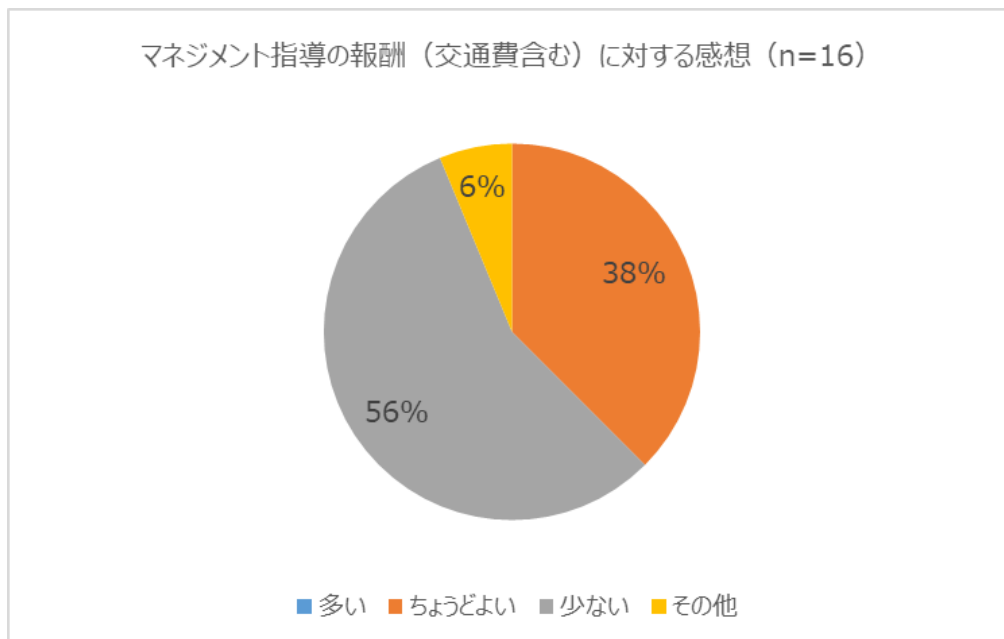
「適切であった」具体的な理由

- ・ 対面ではないと相手の思いが拾えず、特に今回の規程の策定においては担当者の思いが強く反映されるもののため、対面が良いと思った。ほかのテーマであればオンラインでも良いかもしれない。
- ・ 対面は適切だったが、指導先企業からはリモートでのリクエストもあった。
- ・ 直接、話すことでニュアンス等がつかみやすい。

- ・ 現場を見なければわからないことが多い。
- ・ セキュリティ規程の定義では、現場を観察することが重要なので、現地を訪問することに価値がある。また、疑問に感じた時に、実担当者にヒアリングがすぐできる場とすることも重要と考える。
- ・ 相手の懐に入って話しをすることで、より相手の本音を聞き出せると思う。また、守衛の対応などを実際に確認できる。
- ・ 対面の方が得られる情報量が格段に多く、関係性構築のうえでも必要と思う。
- ・ 訪問実施により、相手方の会社全体の様子がわかる。
- ・ 情報セキュリティ教育では、実施中に受講者の反応が分かるので良い。
- ・ 比較的、円滑なコミュニケーションができたのではないかと思う。
- ・ メールなどでは意思疎通が難しいため。
- ・ オンラインでは感じることでできない担当者の熱量、事業所のセキュリティ対策状況を推し量ることが可能。また、対面の方がより信頼関係の構築を図ることが可能と考える。
- ・ 対面での関係構築は必須。顔を合わせて初めて語れる話がある。
- ・ 情報セキュリティ関連規程や基本方針について、企業が作成してきたものは詳細に説明できた。また、内容よりも浸透・展開・ルールを守らない組織への悩みが思いのほか多く、規程類よりも同席した経営層への説明、実行計画の見える化を並行して進め、かつ、セキュリティアクション 2 つ星宣言の手続き方法などを補足資料で示せた。
- ・ 機微な情報もあるため、オンラインでは指導先企業の不安があるのではと感じる。

(7) 本マネジメント指導の報酬（交通費含む）は適切であったか

回答者の 4 割近が今回の報酬（交通費含む）適切であったと回答している。一方 6 割近くの専門家が少ないと回答しており、今後の課題と思われる。



「ちょうどよい」具体的な理由

- ・ 比較する対象がないので判断しにくい。
- ・ 報酬もありがたいが、今の資格を活かして会社側の役に立てることに満足している。
- ・ 1 回あたり実働 2 時間なので現状で問題ない。
- ・ 今回の訪問指導は、ヒアリングに基づいたもので机上での対応であった。実機の設定確認や変更、個々の従業員への聞き取り等の具体的な対応が必要な場合は、今回の報酬では対応は難しい。
- ・ 指導が 1 回あたり短時間でありちょうどよいと思う。

「少ない」具体的な理由

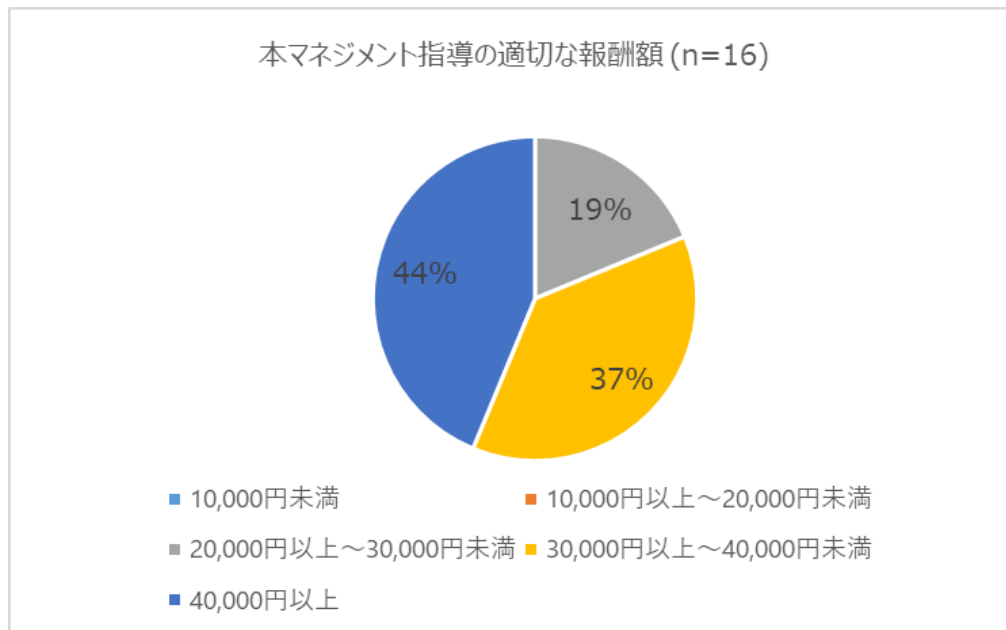
- ・ 当日のみであれば十分かと思ったが、事前準備も含めると少々少なく感じた。
- ・ 相場からすると安い感じがした。
- ・ 訪問以外に、テーマに沿った指導の準備と事後の報告でも、かなりの時間をとられる。加えて、サイバーセキュリティ全般に関するご質問も無視できないので、その回答を準備するのにも時間をとられる。合わせると一回の訪問で 2 日間くらいの時間をとられている。
- ・ 準備にも工数がかかる。（今回で言えば、1 社あたり 1 回で 8 時間は割いている）準備(8) + 実施(3) + 移動時間(3)で 14 時間以上を要する。今回の報酬 25,000 円では、時間単金が 1,600 円程度である。これは人月(160H/月)で考えると 25 万円程度となり、最低レベルのプログラマー(35 万程度か?)以下でしかない。とてもではないが、特定分野への専門家の報酬とは言えない。
- ・ 事業を拡大するにあたって、専門家の確保が難しくなるのではないかと思う。
- ・ 専門的なスキルが必要な仕事だから報酬は高くないといけないと思う。
- ・ 他の専門家派遣事業(商工会や金融機関等)と比較しても少ない。
- ・ 公的な支援の限界については理解しているが、これだけで食べていくのは難しい。
- ・ 2019 年・2020 年の際は、1 回あたり 45,000 円であった。実施している密度・難易度は今回の方が高く、要望や的を絞るための事前準備時間も多く必要。国家資格ながら他の士業業務よりも低い。また、最終のアンケートも複数種類(全部 4 点)の記入時間を考えるとアウトプットも多い。

「その他」具体的な理由

- ・ 副業としては十分な気もするが、本業だと仕事には見合わないかなと思う。

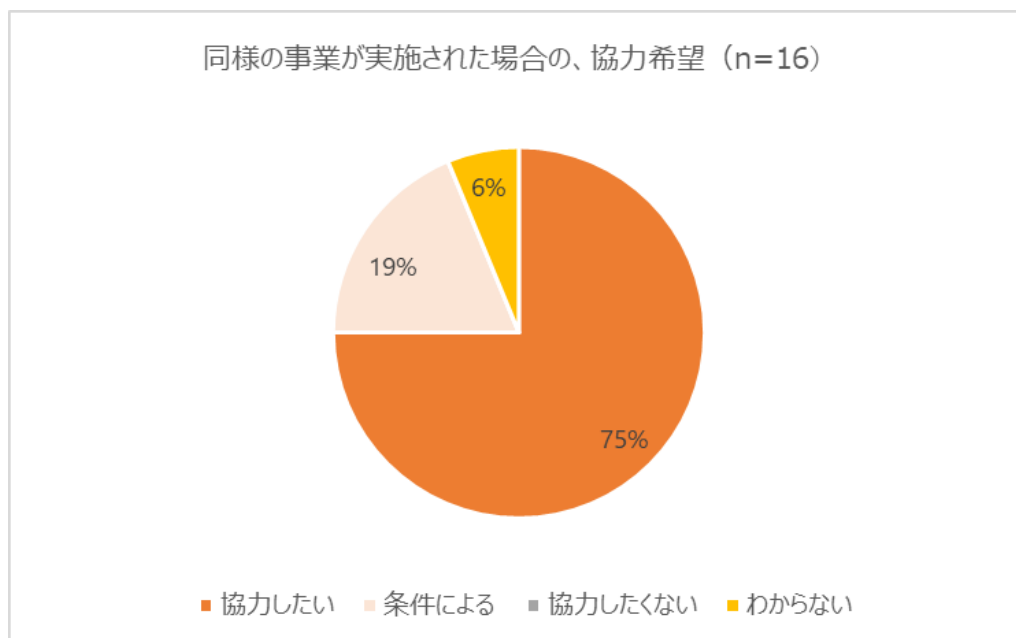
(8) 今回と同様のマネジメント指導における適切な報酬額

回答者の 4 割超が 40,000 円以上と回答しており、今回の報酬額の範囲での回答は 2 割という結果であった。



(9) 次回同様の支援事業があった場合の協力希望

回答者の 7 割超が次回同様の事業があった場合協力したいと回答している。条件によると回答した専門家の条件は、報酬と日程が合えば協力するとの回答であった。



「協力したい」具体的な理由

- ・ 副業という形であるため、なかなか本格的なことはできないが、今回の事業の分量であれば複数社でもこなせる内容と感じた。
- ・ 私自身の勉強になった。また、このような事業で自分の知見を社会に役立てられるのは有意義だと

感じている。

- ・ 自身のスキルアップにもつながり、地域の中小企業に貢献できる。
- ・ 報酬の問題はあるものの、本当に困っている企業との橋わたしをしてもらえる点は非常に高く評価している。実際に指導した各社も熱心に取り組んでいただき、満足度の高い成果を提供できたと自負している。
- ・ 企業側のセキュリティの困りごとに対して、一緒に伴走して解決できる手助けができる。
- ・ 中小企業のセキュリティ向上に貢献できる機会が少ないため。
- ・ 情報処理安全確保支援士側にとっても、中小企業の IT 利用の実態がわかり、勉強になる。
- ・ セキュリティ対策を進めることは企業、国を守ることにつながる。また、自分の経験にもなる。
- ・ 自分自身の経験にもなり、仕事の幅が増えそう。
- ・ サイバーセキュリティという切り口で、いろいろな企業と話せるのは楽しい。
- ・ 2019 年、2020 年の公的事業のマネジメント指導に携わり、期間が空いたが 2024 年度の公的事業のマネジメント指導に関わり、初年度から継続して実施しており、今後もガイドラインに沿って臨機応変な対応が十分できると判断した。
- ・ 情報処理安全確保支援士の活用のための良い取り組みであると感じるため。

「条件による」具体的な条件

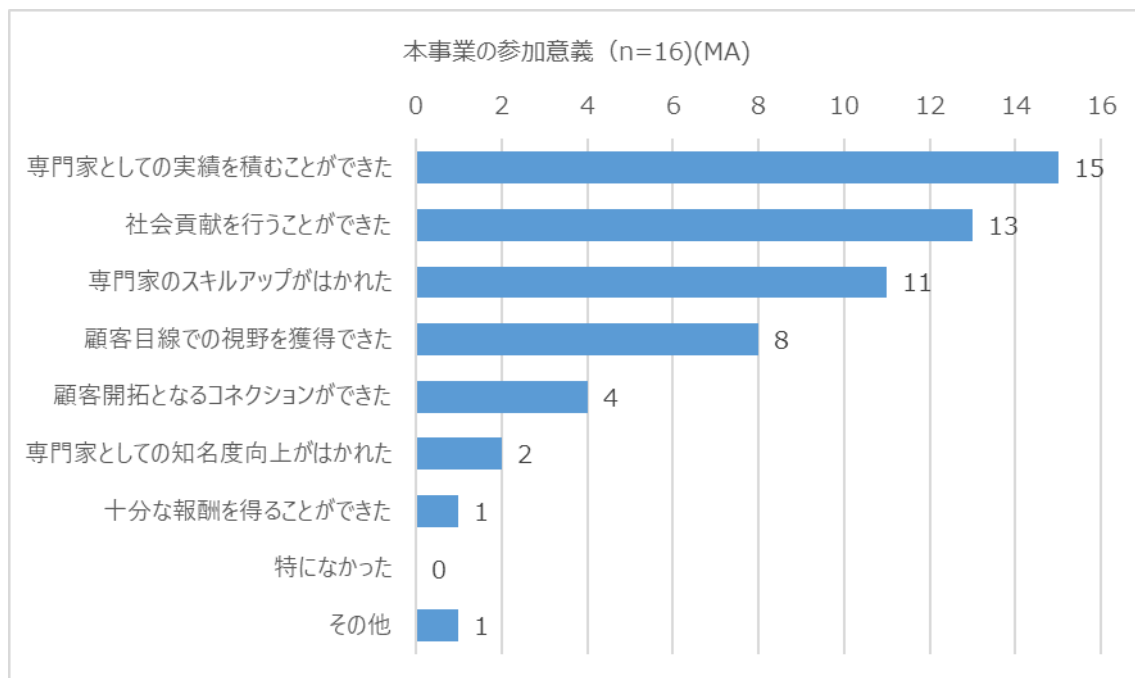
- ・ 報酬が上がるなら。
- ・ 日程が空いていれば。
スケジュールが空いていれば協力したい。

「わからない」具体的な理由

- ・ 本業の繁忙度等の状況により判断したいため。

(10) 本事業参加の意義

本事業への参加によって得られたこととして、「専門家としての実績を積むことができた」、「社会貢献を行うことができた」、「専門家のスキルアップがはかれた」と続いており、本事業が専門家の実績やスキルアップの向上を図るとともに、その動機としては社会貢献の意味が大きいということが見て取れる。



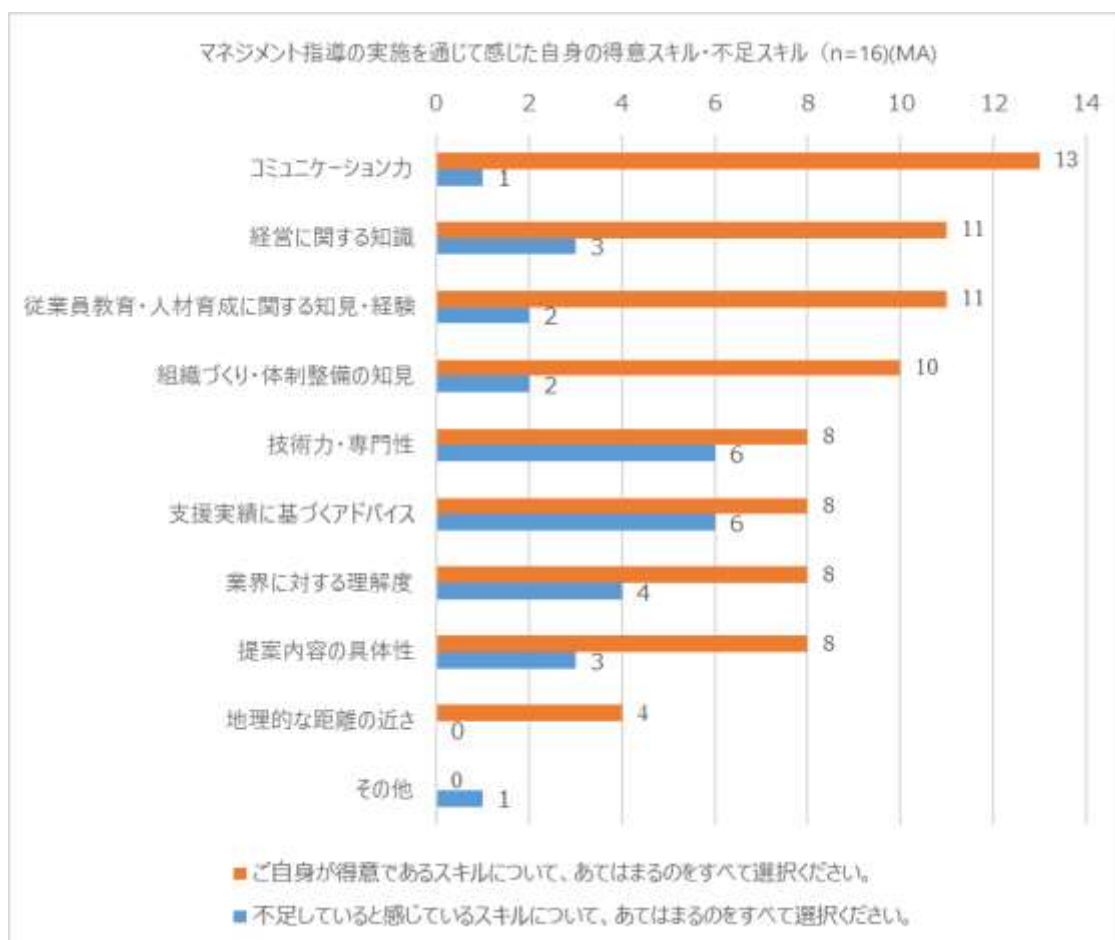
「その他」具体的な内容

- ・ 現場の具体的な課題を知ることができた。

(11) マネジメント指導を通じて感じた、自身の得意スキル/不足スキル

得意なスキルは、「コミュニケーション力」、「経営に関する知識」、「従業員教育・人材育成に関する知見・経験」と続いており、専門家としての多様なスキルが必要、習得していることがうかがえる。

一方、不足しているスキルは、「技術力・専門性」が多かった。また、「支援実績に基づきアドバイス」も同数で、本事業が支援実績に寄与できものであったことを示唆している。



(12) 今後行ってみたい指導内容、指導方法 (自由記述)

- ・ オンラインでスポットでの指導
- ・ セキュリティ診断・標的型攻撃メール訓練
- ・ 自工会とのコラボ指導
- ・ 従業員教育の中でも特に管理職に対するセキュリティ教育（現場への浸透策、インシデントに強い体制など）
- ・ セキュリティインシデント対応、クラウドサービスの安全利用の指導
- ・ 保険会社と組んでサイバー保険を売ってみたい
- ・ 情報資産のリスク分析とバックアップ資産の3拠点管理など

(13) その他、マネジメント指導全般について気づいた点やご提案 (自由記述)

- ・ 指導先企業と話していても、この事業のニーズは地方でもあるように感じたので、今回の3県にとどまらず特に地方での開催をしたほうが良いと思う。専門家がその地方にいなかったりして専門家を集めるのも大変かもしれないが。
- ・ 他の指導専門家との交流の場がないことが残念だった。セキュリティといっても一枚岩ではないので、

互いの得意分野の情報交換などができれば、より良い支援が行えるように感じる。

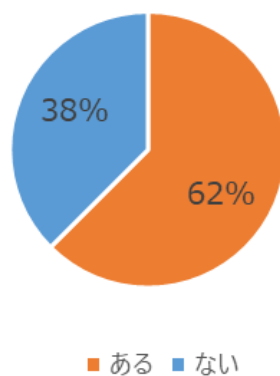
- ・ 今後も継続して、こうした企画を続けてもらえると幸いである。
- ・ IPA や商工会議所の推奨は効果があったと感じた。
- ・ 過去から、IPA の事業名は「指導」という文言が使用されているが違和感がある。法律等、ある程度の強制力があるものに則って指導を行うものではなく、あくまで事業者の主体的な取り組みを支援するものであるため、多くの中小企業を対象とした事業と同じく、「支援」という文言を用いた方が適切ではないかと思う。
- ・ 情報処理安全確保支援士向けのロープレもあっても面白いかもしれない。
- ・ 実施時期 12 月 1 月は繁忙期で協力が得にくい。宿題事項も十分に時間を取れていない。

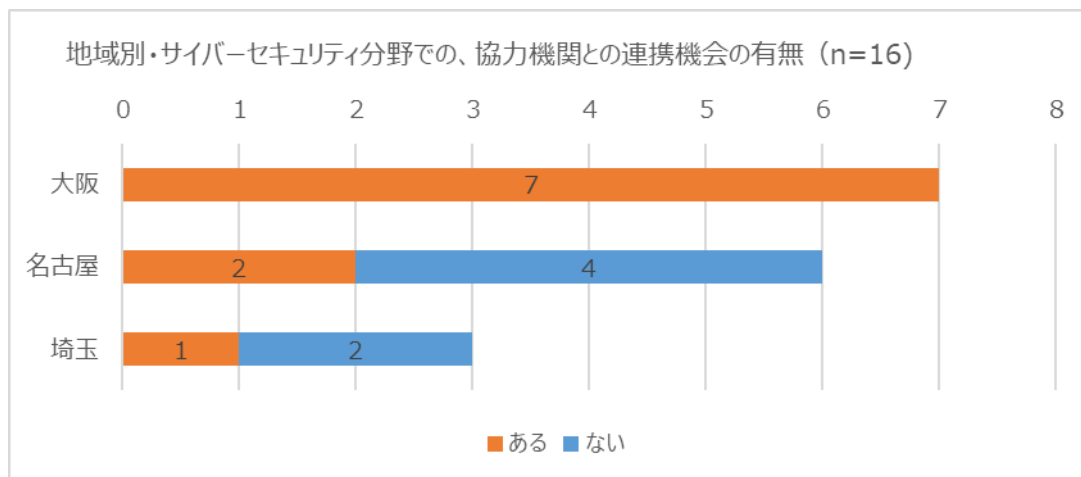
2.3. 協力機関との連携について

(1) サイバーセキュリティ分野における協力機関との連携状況

回答者の 6 割がサイバーセキュリティ分野で商工会議所等の協力機関から依頼や相談を受けると回答している。地域別にみると、地域での連携に差があることがうかがえる。

サイバーセキュリティ分野での、協力機関との連携機会の有無
(n=16)





「ある」場合、内容や頻度（自由記述）

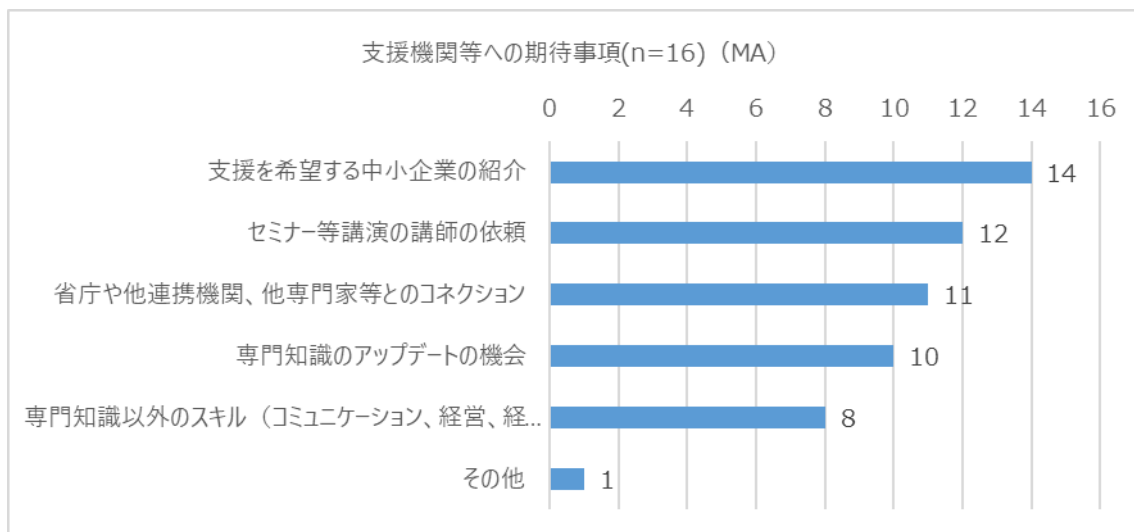
- ・ 年に数回
- ・ 年 1 度程度
- ・ 大阪商工会議所「サイバーセキュリティお助け隊」の隊員としての活動（昨年は 4 回出勤）
生駒商工会議所：所内 IT 支援など（期間契約）奈等商工会議所：セキュリティセミナー（2025 年 1 月に初回実施。今後は未定）
- ・ サイバーセキュリティお助け隊に関する依頼など
- ・ 年に数回、商工会議所様や支援機関から、情報セキュリティセミナーの依頼を受けている
- ・ 月 1 回程度で、今回と同様の内容が良い。
- ・ 中小企業や中小企業団体・組合に向けてのセキュリティ対策セミナー・研修（年に 1 回程度）
- ・ 月 1～2 回くらい
- ・ UTM 設置、駆けつけサービス
- ・ 年に一度程度講演を依頼される

「ない」場合、その理由（自由記述）

- ・ 特にコネクションがない
- ・ 質問の意図がわからない。民間のコンサル会社からは良く頼まれるが、商工会議所等とは関係がない。
- ・ 商工会議所等の担当者と面識がない
- ・ 依頼や相談がないので、ない理由はわからない。

（2）協力機関への期待事項

協力機関に期待するものとしては、「支援を希望する中小企業の紹介」、「セミナー等講演の講師の依頼」、「省庁や他連携機関、他専門家等とのコネクション」と続いており、企業や他機関、他専門家とのコネクション作りとなることへの期待がうかがえる。

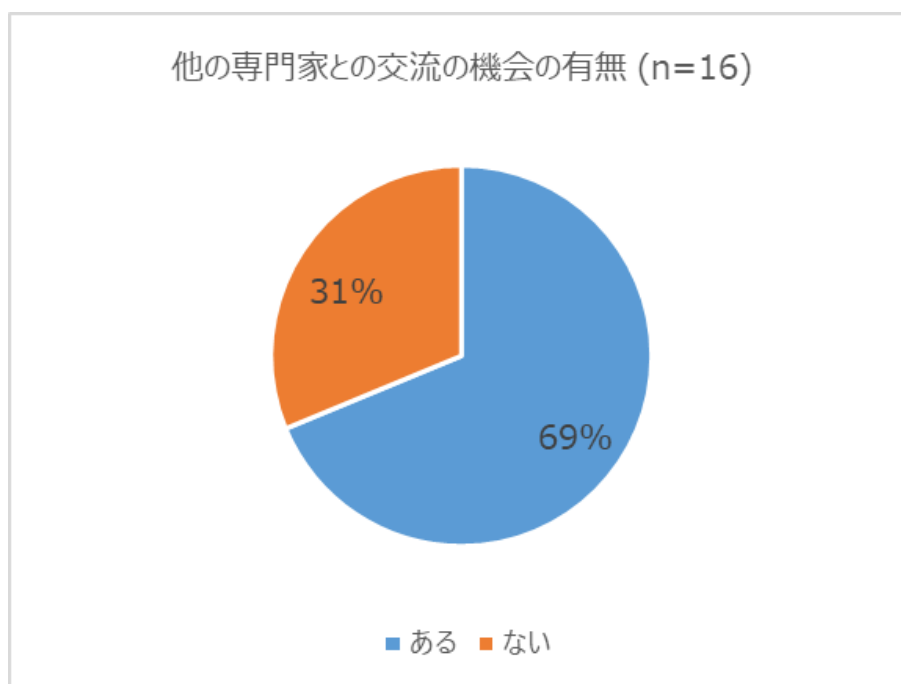


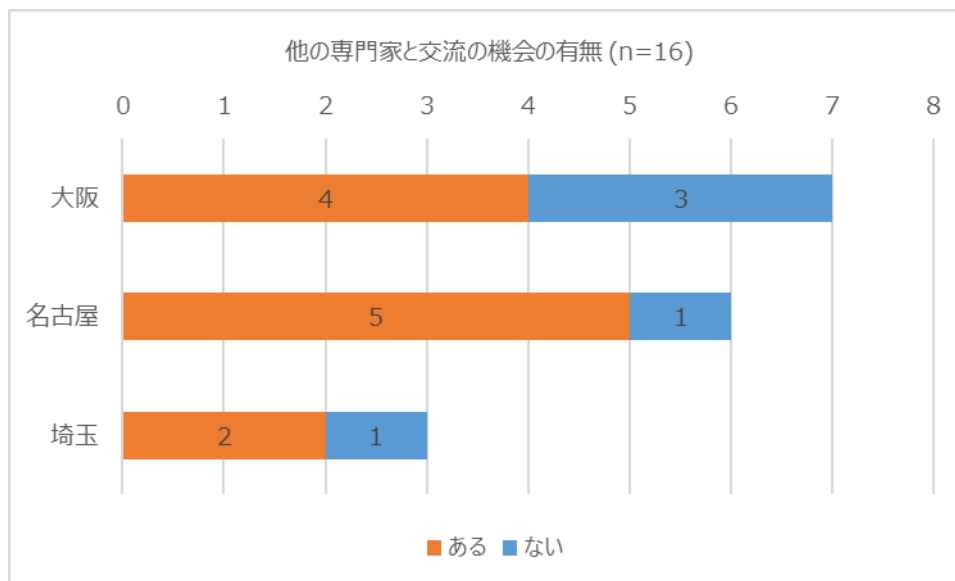
「その他」具体的な内容

- ・ 他専門家等とのコネクション

(3) 他の専門家との交流機会

回答者の 7 割近くが他の専門家と意見交換や相談等の交流の機会があると回答している。





「有」場合、内容や頻度（自由記述）

- ・ 年に数回
- ・ 2 か月に 1 度程度／日本システム監査人協会の例会等
- ・ 情報処理安全確保支援士の集合研修。IT ストラジスト協会の定例会。
- ・ SNS など、ネット経由での機会は多い。ただし、リアル（対面）での機会が少ない点は改善したい。
- ・ 地元の知り合いの情報処理安全確保支援士と定期的に集まって、情報交換や勉強会を開いている。
- ・ 年に数回、情報処理安全確保支援士会や ISMS 審査員連絡会に参加。最近のセキュリティ事故や事件について情報交換を行っている。
- ・ 年に数回程度、雑談も含めた近況報告等を行っている。
- ・ 情報処理安全確保支援士会
- ・ 中小企業診断士の研究会やセキュリティの交流会など
- ・ 地域のセキュリティに関するコミュニティが月次程度で複数存在する

「ない」場合、その理由（自由記述）

- ・ そういう場を知らない
- ・ 他の専門家との面識が希薄なため
- ・ 意見交換や相談の必要性が小さいため
- ・ そもそも情報セキュリティの専門家として活動している人が周りにいない
- ・ 指名制が多いから

(4) 今後の情報処理安全確保支援士の活用機会の促進や資格・制度の広報等について提案（自由記述）

- ・ 土業として定義されているが、なかなか認知はされていない。本業で官公庁の情報システム調達の調達に関わる人が多いが、情報処理安全確保支援士が入札要件に入っていることもあるものの、「望ましい」であって「必須」とまではなっていない。必須要件にしていくよう、情報システム調達を変えていけばよいのではないだろうか。また、土業としてその分の報酬も支払うようにすればよいと思う。
- ・ まだまだ認知度が低いと思う。認知度向上に繋がるイベントや他団体との協業などがあると良いと思う。
- ・ 情報セキュリティ対策だけでなく、もう少し巾広リスク管理、品質向上といった分野でも情報処理安全確保支援士が活躍できることを周知していただきたい。例えば、工場の品質向上や生産性向上策で言われる 5S（整理、整頓、掃除、清掃、躰）は情報の精査にも有効だし、防災訓練にセキュリティインシデント訓練を加えることも非常に価値がある。そろそろ、安全確保＝IT＝コンピュータみたいなステレオタイプから離れるべき時期であると思う。
- ・ エンドユーザに対する知名度向上をしてもらいたい。他の土業のように、地域組織を形成してもらいたい。
- ・ セキュリティベンダーとの交流ができると、スキルや仕事の幅が広がるのではと考える。
- ・ 今回のような取組みを継続してもらいたい。
- ・ 「情報処理安全確保支援士」という名称が何の専門家なのか非常にわかりづらい。以前の「情報セキュリティスペシャリスト」の呼称の方がシンプルでよい

(5) 協力機関に対するご要望等（自由記述）

- ・ 今回の事業で継続的な支援を要望された。専門家登録等で対応できるなら、紹介してもらえると幸いである。
- ・ 中小企業に対する公的な支援があれば教えてほしい。IT 導入補助金でサイバーセキュリティ対策の費用にも補助金が出る可能性がある、といった内容。

(6) これまでの中小企業に対する支援活動において、専門家として直面した課題および克服方法（自由記述）

- ・ 中小企業に対してだと、担当者は役職の高い方とのやりとりとなり、即応性が求められることが多く、持ち帰りというのが難しい。これに対しては、十分な事前準備と専門知識をすぐに引き出せるだけの用意をして対応した。
- ・ 限られたリソース内での支援という課題に対して、なるべくコストをかけずに最適解を助言するように努めている。
- ・ 経営者と込み入った話をする際には、やはり財務・会計の知識が必要となることが多い。財務・会計の知識が不足していると会社に見合った提案をすることができない。最終的には中小企業診断士を取得したが、簿記 2 級くらいの知識を身に着けたくらいから、減価償却などの意味合いもわかって、

IT 投資に対する助言もしやすくなった。

- ・ コミュニケーションに齟齬があり、何度も繰り返し話をすることで解消していくことが大事である。

3. アンケート項目

3.1. 指導先企業アンケート

マネジメント指導 指導先企業アンケート

この度は、マネジメント指導にご参加いただき、誠にありがとうございます。

支援施策の検討のため、お手数ではございますが、本アンケートへのご記入をお願いいたします。

【0. 貴社について】

①貴社名（ ）

②貴社における情報セキュリティ担当者の設置状況を教えてください。

- ☐ 専任の担当者がある
- ☐ 兼任の担当者がある
- ☐ 担当者はいない

【1. マネジメント指導について】

Q1-1「セキュリティマネジメント指導」に参加された目的をお選びください。（複数選択可）

- ☐ 情報セキュリティに関する規程を整備するため
- ☐ 取引先や顧客から安全・安心・信頼を獲得するため
- ☐ 情報セキュリティに関するリスクを特定して分析を行い、対策を検討するため
- ☐ 情報セキュリティ管理体制やインシデントの対応手順を整備するため
- ☐ 社内の情報セキュリティ教育や人材育成に関するアドバイスを受けるため
- ☐ 社内の情報セキュリティに対する意識の向上を図るため
- ☐ 経営層に情報セキュリティに対する関心を持ってもらうため
- ☐ その他（具体的に： ）

Q1-2 今回受けたセキュリティマネジメント指導テーマをお選びください

- ☐ 情報セキュリティ規程の整備
- ☐ 情報資産洗い出しとリスク分析
- ☐ クラウドサービスの安全利用
- ☐ セキュリティインシデント対応
- ☐ 従業員向けセキュリティ教育

Q1-3 セキュリティマネジメント指導について

Q1-3-1 今回参加いただいた相談会の2部で実施した、事前の個別相談は必要でしたか？

- ☐ 必要だった
- ☐ 必要だったが、オンラインでの実施でもよかった
- ☐ 不要だった
- ☐ わからない

Q1-3-2 上記回答の理由を教えてください：

()

Q1-3-3 1 指導テーマ当たりマネジメント指導の実施回数（3 回）について、どのようにお感じですか？

- ☐ 少ない
- ☐ 適切
- ☐ 多い

Q1-3-4 （Q1-3-3 で「少ない」、「多い」を選んだ方）何回程度が適切だと思いますか？

- ☐ 1 回
- ☐ 2 回
- ☐ 4 回
- ☐ 5 回以上

Q1-3-5 今回実施したマネジメント指導では、1 回当たり指導時間を 2 時間と設定させていただきましたが、どのようにお感じですか？

- ☐ 指導時間 2 時間は短かった
- ☐ 指導時間 2 時間は適切であった
- ☐ 指導時間 2 時間は長かった

Q1-3-6 （Q1-3-5 で「短かった」、「長かった」を選んだ方）1 回当たりの指導時間は、何時間程度が適切だと思いますか？

- ☐ 1 時間未満
- ☐ 1 時間
- ☐ 3 時間
- ☐ 4 時間
- ☐ 5 時間以上

【2. 指導プログラムについて】

Q2-1 マネジメント指導を受け、当初の目的を達成することが出来ましたか？

- ☐ 当初の目的を十分達成することができた
- ☐ 当初の目的をある程度達成することができた
- ☐ 当初の目的をあまり達成することができなかった
- ☐ 当初の目的を達成することができなかった
- ☐ その他

Q2-2

上記回答の理由を教えてください。

()

Q2-3 マネジメント指導で得られた成果(物)は何ですか（例：業務規程の整備、従業員教育の実施等）

()

Q2-4 今回のマネジメント指導で果たせなかった課題がありましたら、ご記入ください

()

Q2-5 今回受けたマネジメント指導の内容を、自社の各拠点（支社/支店、工場、グループ会社等）に展開されますか

- ☐ 展開する
- ☐ 展開しない
- ☐ 検討中
- ☐ わからない

Q2-6 （展開される場合）その際、各地域のセキュリティ専門家のサポートが必要ですか？

- ☐ 今回指導をしていただいたセキュリティ専門家に、継続して対応いただきたい
- ☐ 可能であれば、その地域のセキュリティ専門家にサポートをお願いしたい
- ☐ 自社内で展開するので不要
- ☐ わからない

Q2-7 セキュリティマネジメント指導ツールについて

Q2-7-1 今回の指導で使用したセキュリティマネジメント指導ツールは、分かりやすく作られておりましたでしょうか？

- ☐ 非常によく理解できた
- ☐ よく理解できた
- ☐ 普通
- ☐ あまり理解できなかった

（具体的な内容：)

- ☐ ほとんど理解できなかった

（具体的な内容：)

Q2-7-2 セキュリティマネジメント指導ツールの充足度はいかがだったでしょうか？

- ☐ とても不足していた
☐ やや不足していた
☐ 適切であった
☐ やや充足していた
☐ とても充足していた

(具体的な内容：)

【3. セキュリティ専門家について】

Q3 セキュリティ専門家について

Q3-1 今回指導を担当したセキュリティ専門家の技量はいかがでしたか。5段階で評価してください。

	悪い				良い	
テーマについての専門的知識	1	2	3	4	5	
説明内容の丁寧さ・分かり易さ		1	2	3	4	5
指導内容が要望に合っていた	1	2	3	4	5	
時間配分	1	2	3	4	5	
人柄・態度・言葉遣い	1	2	3	4	5	
指導する意欲	1	2	3	4	5	
コミュニケーションの取り方	1	2	3	4	5	

Q3-2 今回指導を担当したセキュリティ専門家に対するコメント（要望事項、対応等）があればお聞かせ下さい。

【4. 事務局について】

Q4 事務局の対応について

Q4-1 事務局の連絡対応はいかがでしたか。5段階で評価してください。

	悪い				良い	
初回指導日の日程調整	1	2	3	4	5	
指導テーマ・指導専門家の連絡		1	2	3	4	5
実施案内書類の送付	1	2	3	4	5	
その他の事務局対応	1	2	3	4	5	
事務局に対する満足度	1	2	3	4	5	

Q5 今後の指導について

Q5-1 今後も機会があれば、セキュリティ専門家からの指導を受けたいと思われませんか？

☐ 今回のように無料であれば受けたい

☐ 有料でも受けたい

☐ より継続した指導を受けるため、コンサルタント契約（顧問契約）も検討したい

☐ 検討中

☐ 分からない

Q5-2 今後指導を受ける場合、今回と同じ専門家に担当してもらいたいと思われませんか？

☐ 同じ専門家を希望する

☐ 別の専門家を希望する

☐ どちらでもよい

☐ 分からない

Q5-3 今回受けたマネジメント指導テーマ以外で受けた指導テーマがあれば教えてください。

(複数選択可)

- ☐ 情報セキュリティ規程の整備
- ☐ 情報資産洗い出しとリスク分析
- ☐ クラウドサービスの安全利用
- ☐ セキュリティインシデント対応
- ☐ 従業員向けセキュリティ教育
- ☐ その他（具体的に：

Q5-4 マネジメント指導/コンサルティング指導を受ける場合の条件について

Q5-4-1 今後、貴社がセキュリティ専門家による指導を受ける場合、希望する指導期間を教えてください

(複数選択可)

☐ スポット対応

☐ 1～3 か月

Q6 商工会議所等、支援機関との関わりについて

☐ 利用中
☐ 検討中
☐ 利用予定なし
☐ わからない

☐ ほとんど利用していない

☐ 年1回程度利用している

☐ 年に2～3回利用している

☐ 年に4～6回利用している

☐ 年に7回以上利用している

- ☐ サイバーセキュリティに関する困りごとの相談
- ☐ サイバーセキュリティに関する技術的対応
- ☐ サイバーセキュリティに関する補助金等支援制度の情報収集
- ☐ セキュリティベンダー、支援機関（企業や団体）、セキュリティ専門家の紹介
- ☐ サイバーセキュリティ対策セミナーや講演等の受講
- ☐ サイバーセキュリティに関する定期的な情報収集
- ☐ その他（具体的に：_____）

- ☐ サイバーセキュリティに関する相談窓口の開設
- ☐ サイバーセキュリティに関する技術的対応
- ☐ サイバーセキュリティに関する補助金等支援制度の情報提供
- ☐ セキュリティベンダー、支援機関（企業や団体）、セキュリティ専門家の紹介制度
- ☐ サイバーセキュリティ対策セミナーや講演等の実施

- ☐ その他サイバーセキュリティに関する定期的な情報発信
- ☐ その他（具体的に： ）

Q6-6 支援機関に対するご要望等があれば、教えてください。

Q6-7 今回のマネジメント指導では、指導にあたるセキュリティ専門家を、各地域の商工会議所から紹介いたしました。今後も今回と同様に、地域の商工会議所からのセキュリティ専門家の紹介を希望されますか？

- ☐ 是非、各地区の商工会議所から紹介いただきたい
- ☐ 商工会議所以外の公的機関から紹介いただきたい
- ☐ セキュリティ専門家（登録セキスペ）のリスト（各位の資格や経験等が記載された、例えばアクティブリスト）があれば、自分達で選定してマネジメント指導専門家に依頼する
- ☐ その他（ ）

Q6-8 Q6-7 で回答された理由をよろしければ教えてください。

【回答者】

貴社名：

部署名：

氏名：

役職：

ご協力いただきありがとうございました。

3.2. 指導専門家アンケート

マネジメント指導 専門家向けアンケート

この度は、マネジメント指導にご参加いただき、誠にありがとうございます。

支援施策の検討のためお手数ではございますが、本アンケートへのご記入をお願いいたします。

1. 基本情報

1. 専門家氏名をご記入ください。_____

2. 施策についての評価

1. マネジメント指導について、参加企業のサイバーセキュリティ対策に貢献した事業であったと思いますか

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. どちらでもない
- ☐ 3. そう思わない
- ☐ 4. . その他（具体的に： _____ ）

上記の評価とした理由を具体的にお聞かせください。

（ _____ ）

2. マネジメント指導について、専門家にとって今後の情報処理安全確保支援士の活躍促進につながる事業であったと思いますか。

- ☐ 1. そう思う
- ☐ 2. どちらでもない
- ☐ 3. そう思わない
- ☐ 4. . その他（具体的に： _____ ）

上記の評価とした理由を具体的にお聞かせください。

（ _____ ）

3. 設定した指導テーマ 5 テーマ以外に設定したらいと思うテーマがありましたら、ご記入ください。

（ _____ ）

4. 実施回数（3回）は適切であったと思いますか

- ☐ 1. 多い
- ☐ 2. ちょうどよい
- ☐ 3. 少ない

☐ 4. その他（具体的に： _____）

上記の評価とした理由を具体的にお聞かせください。

（ _____ ）

5. 期間（1 月まで）は適切であったと思いますか

☐ 1. 長い

☐ 2. ちょうどよい

☐ 3. 短い

☐ 4. その他（具体的に： _____）

上記の評価とした理由を具体的にお聞かせください。

（ _____ ）

6. 形式（対面での実施）は適切であったと思いますか

☐ 1. 適切であった

☐ 2. 適切でなかった

☐ 3. その他（具体的に： _____）

上記の評価とした理由を具体的にお聞かせください。

（ _____ ）

7. 報酬（交通費含む）は適切であったと思いますか

☐ 1. 多い

☐ 2. ちょうどよい

☐ 3. 少ない

☐ 4. その他（具体的に： _____）

上記の評価とした理由を具体的にお聞かせください。

（ _____ ）

8. 今回の内容であれば報酬は 1 回あたり、いくらが適切と思いますか

¥ _____

9. 次回同様の支援事業があった場合、協力したいと思いますか

☐ 1. 協力したい

☐ 2. 条件による（ _____ ）

☐ 3. 協力したくない

☐ 4. わからない

☐ 5. その他（具体的に： _____）

上記の評価とした理由を具体的にお聞かせください。

()

10. 本事業への参加によって、あなたが得られたことを教えて下さい（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 専門家としての実績を積むことができた
- ☐ 2. 専門家のスキルアップがはかれた
- ☐ 3. 専門家としての知名度向上がはかれた
- ☐ 4. 顧客開拓となるコネクションができた
- ☐ 5. 顧客目線での視野を獲得できた
- ☐ 6. 十分な報酬を得ることができた
- ☐ 7. 社会貢献を行うことができた
- ☐ 8. 特になかった
- ☐ 9. その他（具体的に：)

11. ご自身が得意であるスキルについて、あてはまるのをすべて選択ください。

- ☐ 1. 提案内容の具体性
- ☐ 2. 技術力・専門性（具体的に：)
- ☐ 3. 支援実績に基づくアドバイス
- ☐ 4. 業界に対する理解度
- ☐ 5. 経営に関する知識
- ☐ 6. コミュニケーション力
- ☐ 7. 地理的な距離の近さ
- ☐ 8. 組織づくり・体制整備の知見
- ☐ 9. 従業員教育・人材育成に関する知見・経験
- ☐ 10. その他（具体的に：)

12. 不足していると感じているスキルについて、あてはまるのをすべて選択ください。

- ☐ 1. 提案内容の具体性
- ☐ 2. 技術力・専門性（具体的に：)
- ☐ 3. 支援実績に基づくアドバイス
- ☐ 4. 業界に対する理解度
- ☐ 5. 経営に関する知識
- ☐ 6. コミュニケーション力
- ☐ 7. 地理的な距離の近さ
- ☐ 8. 組織づくり・体制整備の知見
- ☐ 9. 従業員教育・人材育成に関する知見・経験

☐ 10. その他（具体的に： _____）

13. 今後、行ってみたい指導内容、指導方法等がございましたら、ご自由にご記入ください。
（ _____ ）

14. その他、マネジメント指導全般について、お気づきの点やご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。
（ _____ ）

3. 協力機関等との連携について

1. サイバーセキュリティ分野で商工会議所等の協力機関から依頼や相談を受けることがありますか

☐ 1. ある

☐ 2. ない

1-1 「ある」場合、内容や頻度についてお聞かせください
（ _____ ）

1-2 「ない」場合、その理由をお聞かせください。
（ _____ ）

2. 協力機関に期待するものを下記よりすべて選択してください。

☐ 1. 支援を希望する中小企業の紹介

☐ 2. セミナー等講演の講師の依頼

☐ 3. 専門知識のアップデートの機会

☐ 4. 専門知識以外のスキル（コミュニケーション、経営、経理、組織作り等）の習得の機会

☐ 5. 省庁や他連携機関、他専門家等とのコネクション

☐ 6. その他（具体的に： _____）

3. 他の専門家と意見交換や相談等の交流の機会がありますか。

☐ 1. ある

☐ 2. ない

1-1 「ある」場合、内容や頻度についてお聞かせください
（ _____ ）

1-2 「ない」場合、その理由をお聞かせください。

()

4. 今後の情報処理安全確保支援士の活用機会の促進や資格・制度の広報等についてご提案があれば、ご自由にご記入ください。

()

5. 協力機関に対するご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

()

6. これまでの中小企業に対する支援活動において、専門家として直面した課題があれば教えてください。またそれをどのように克服したのか、ご自由にご記入ください。

以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

以上